

2024年度「お客さま本位の業務運営」の取組状況



いよぎんホールディングス



伊予銀行



四国アライアンス証券

2025年7月

取組みと指標

【1】お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

- (1) お客さまの金融知識・経験・財産の状況や、お伺いしたニーズおよび目的に照らし、適切な商品・サービスのご提供に努めてまいります。
- (2) 商品のご提案にあたっては、お客さまの投資判断に資するよう、商品特定・リスク・市況動向などの情報提供を行うとともに、各種手数料の透明性を高め、わかり易く丁寧なご説明を行うよう努めてまいります。
- (3) ご契約後の保有資産の状況や市場動向などについて、適時適切かつ丁寧な情報提供を行うとともに、継続的なコンサルティングに努めてまいります。

【指標】 ①②③④⑤⑥⑦⑧

【対応する原則】 原則2、3、4、5、6

【2】お客さまの多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備

お客さまの投資目的やリスク許容度等に応じ、適切な商品をご選択いただけるよう、商品ラインアップの整備に努めてまいります。

【指標】 ⑨⑩

【対応する原則】 原則6

【3】お客さま本位の態勢整備

- (1) お客さまのニーズや利益に適う営業活動を評価するために、評価のあり方を随時見直してまいります。
- (2) お客さまのニーズを踏まえ、必要に応じてグループ会社にご紹介するなど、グループ一体となってご要望にお応えするよう努めてまいります。

【指標】 ⑪⑫⑬

【対応する原則】 原則6、7

【4】多様化・高度化するニーズに対応できるプロフェッショナル人材の育成

- (1) 研修や各種専門資格の取得奨励等を通じ、商品や市況環境などについて、金融のプロとしての専門知識・スキル向上を継続的に図ってまいります。
- (2) 研修等を通じて、役職員全員が本方針を実践するよう努めてまいります。

【指標】 ⑭⑮

【対応する原則】 原則2、6、7

指標（KPI）一覧

- ①お客さま向けアンケートの結果
- ②お客さま1人あたり総預り資産残高
- ③口座あたり預り資産残高
- ④いよぎんグループでの積立投信推移
- ⑤投資信託のカテゴリ別販売ランキング・割合
- ⑥平均保有期間
- ⑦一時払保険の販売ランキング・割合
- ⑧お客さま向けセミナー実施状況
- ⑨商品ラインアップ
- ⑩投資信託カテゴリ別商品ラインアップ数および投資信託取扱い商品改廃状況
- ⑪営業店評価（社員評価）の改正状況
- ⑫四国アライアンス証券紹介口座開設件数
- ⑬運用以外のニーズを伊予銀行へ共有した件数
- ⑭専門資格保有者数
- ⑮行員・社員向けセミナー

【共通KPI】

- 投資信託の運用損益別顧客比率
- 投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン
- 外貨建保険の運用評価別顧客比率
- 外貨建保険の基準上位20銘柄のコスト・リターン

1. お客様本位の情報提供およびコンサルティングの実践

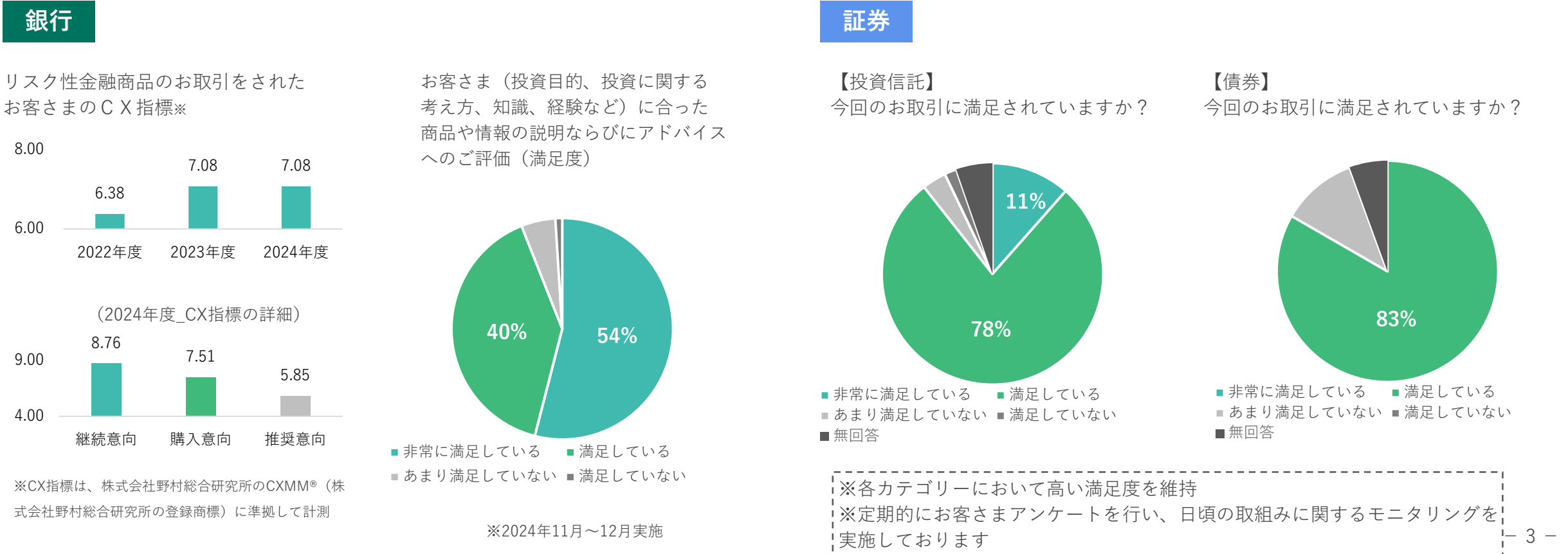
(1) お客様の金融知識・経験・財産の状況や、お伺いしたニーズおよび目的に照らし、適切な商品・サービスのご提供に努めてまいります

- 銀行

●様々なツールの活用により、お客様のライフイベントや夢・想いに合わせた情報提供に努めております。
- 証券

●お客様にご満足いただけるよう、わかり易く丁寧な説明とお客様一人ひとりに合わせた提案を行うとともに、お客様の声と真摯に向き合い、今後も改善・向上してまいります。

【図1】お客様向けアンケートの結果（指標①）



1. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(1) お客さまの金融知識・経験・財産の状況や、お伺いしたニーズおよび目的に照らし、適切な商品・サービスのご提供に努めてまいります

銀行

●お客さま一人ひとりに寄り添い、LIFE PALETTE（ライフプランシミュレーション）やライフプランガイド（パンフレット）を活用し、お客さまのライフステージに合わせた伴走サポートを行っております。

証券

【図2】ツールの活用

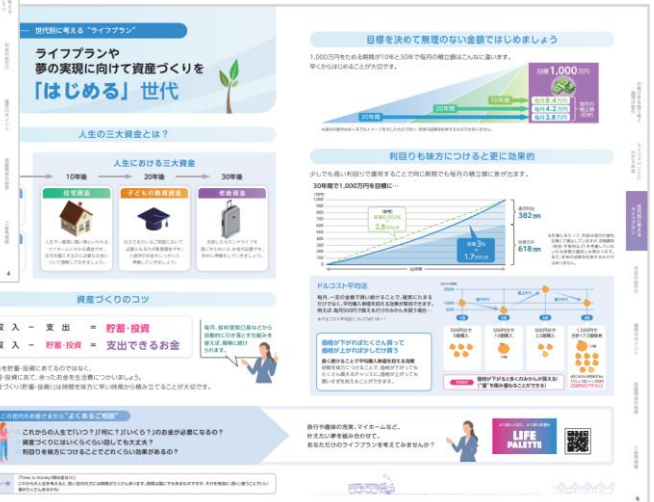
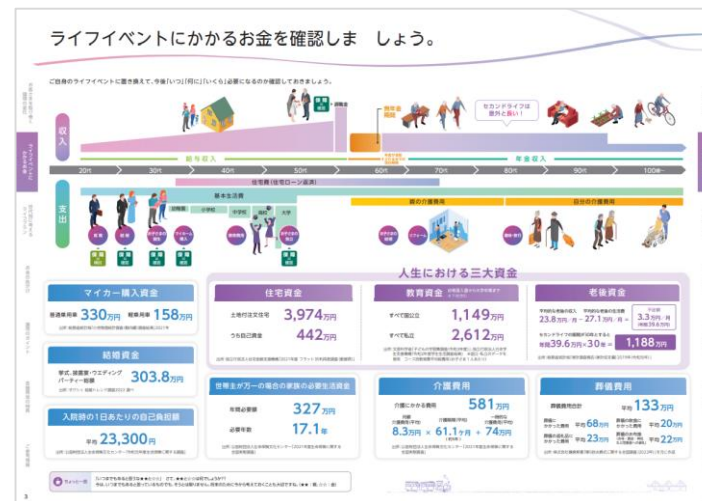
銀行

<LIFE PALETTE>



マイホーム、お子さまの教育、老後など、ライフイベントを組み合わせ、お客さまだけのライフプランを作成することができます。

<ライフプランガイド>



1. お客様本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(1) お客様の金融知識・経験・財産の状況や、お伺いしたニーズおよび目的に照らし、適切な商品・サービスのご提供に努めてまいります

銀行

●コンサルティングの実践により、お客様の資産をまもり、ふやしていけるよう努めてまいります。

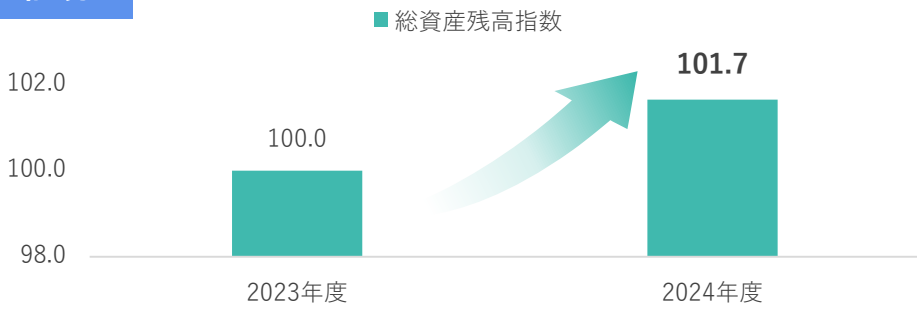
証券

●お客様の資産形成のお役に立てるよう、長期分散投資・積立投信のご案内を行っており、契約先・掛込額ともに増加しております。

【図3】お客様1人あたり総預り資産残高（指標②）

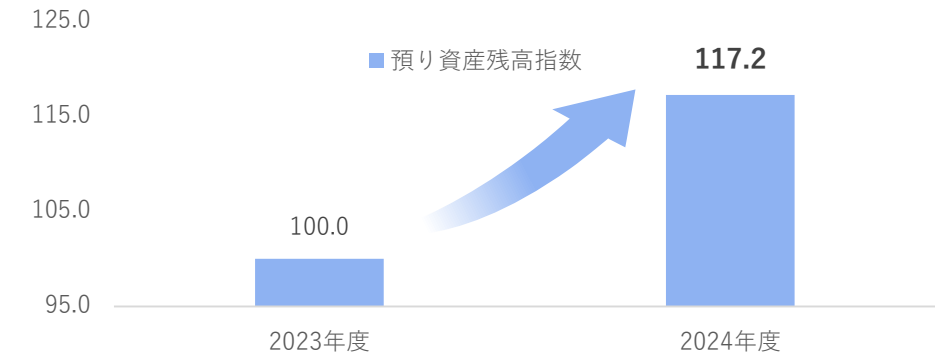
銀行

証券



【図4】口座あたり預り資産残高（指標③）

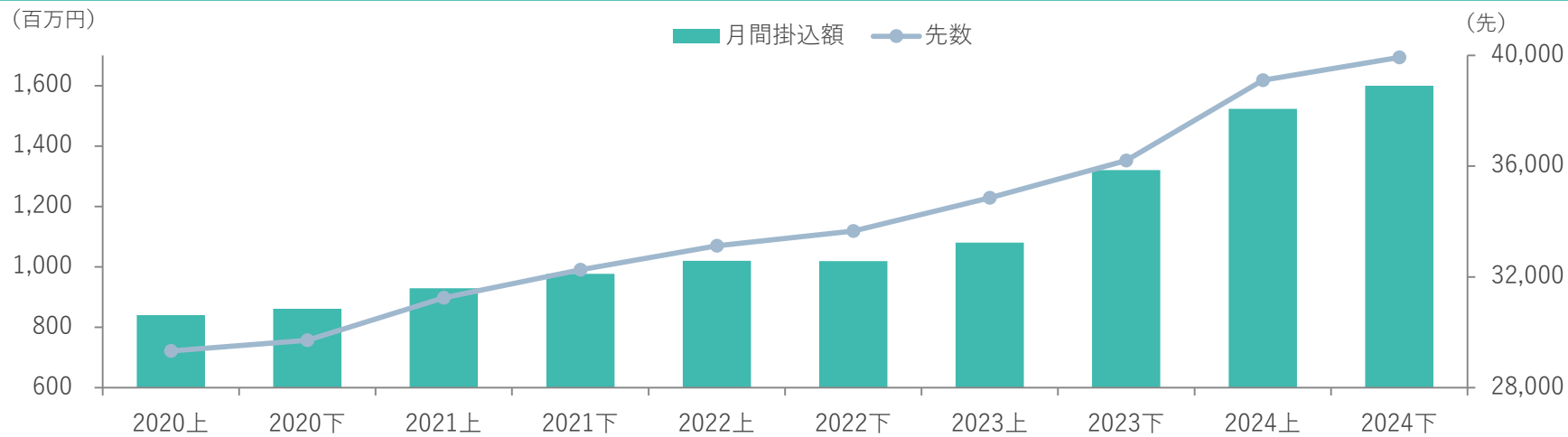
証券



【図5】いよぎんグループでの積立投信推移（指標④）

銀行

証券



1. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(1) お客さまの金融知識・経験・財産の状況や、お伺いしたニーズおよび目的に照らし、適切な商品・サービスのご提供に努めてまいります

銀行

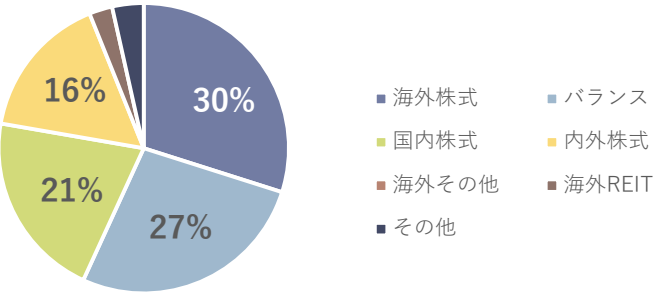
証券

●お客さまの利益を不当に害する過度な乗換勧誘や手数料等の高い金融商品の優先販売等が生じないように、販売状況を検証することにより、適切に管理しております。

【図 6】 投資信託のカテゴリ別販売ランキング・割合（指標⑤）

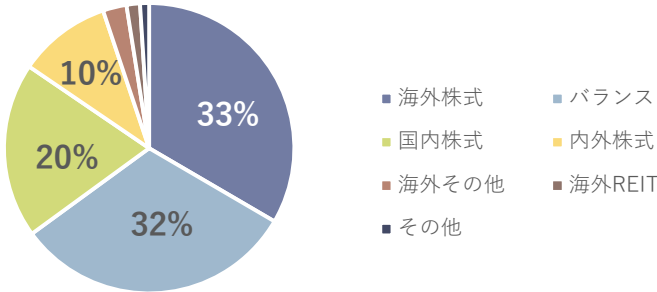
銀行

	ファンド名	カテゴリ	比率
1	日経225ノーロードオープン	国内株式	8.4%
2	のむラップ・ファンド（普通型）	バランス	8.1%
3	米国株式配当貴族（年4回決算型）	海外株式	6.8%
4	のむラップ・ファンド（積極型）	バランス	5.8%
5	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年2回決算型）	内外株式	5.6%
6	（つみたてNISA専用）つみたて先進国株式	海外株式	5.4%
7	（つみたてNISA専用）フィデリティ・米国優良株・ファンド	海外株式	3.9%
8	インデックスファンドS&P500（アメリカ株式）	海外株式	3.8%
9	野村インデックスファンド・日経225	国内株式	3.4%
10	日経平均高配当利回り株ファンド	国内株式	2.8%

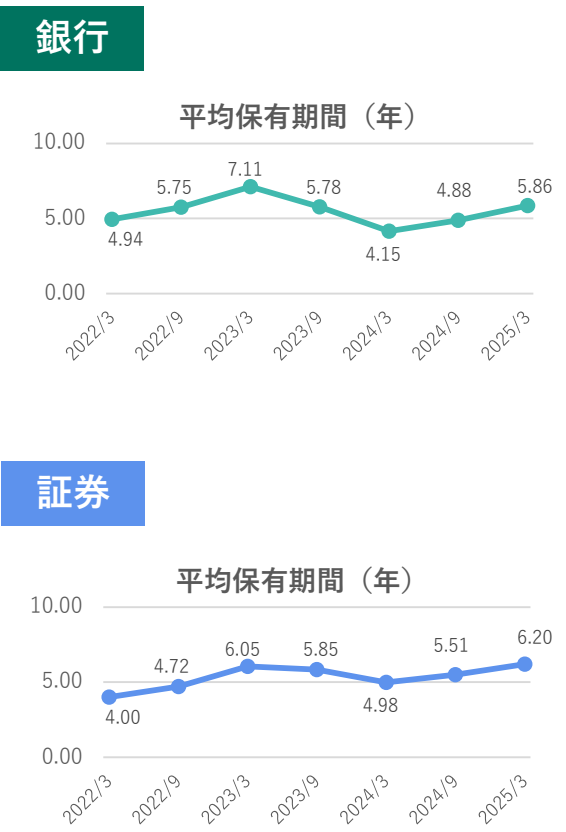


証券

	ファンド名	カテゴリ	比率
1	のむラップ・ファンド（普通型）	バランス	14.5%
2	米国株式配当貴族（年4回決算型）	海外株式	11.1%
3	日経225ノーロードオープン	国内株式	8.7%
4	HSBC インド・インフラ株式オープン	海外株式	6.5%
5	のむラップ・ファンド（積極型）	バランス	4.5%
6	日経平均高配当利回り株ファンド	国内株式	4.2%
7	netWIN GSテクノロジー株式ファンド B（ヘッジなし）	海外株式	3.6%
8	野村世界業種別投資シリーズ（世界半導体株投資）	内外株式	3.1%
9	フィデリティ・世界割安成長株投信 Bコース（為替ヘッジなし）	内外株式	2.9%
10	インデックスファンドS&P500（アメリカ株式）	海外株式	2.8%



【図 7】 平均保有期間（指標⑥）



1. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(1) お客さまの金融知識・経験・財産の状況や、お伺いしたニーズおよび目的に照らし、適切な商品・サービスのご提供に努めてまいります

銀行

●お客さまの利益を不当に害することがないよう、適切に管理し利益相反の防止に努めております。

証券

●各社はグループ内の別会社から商品提供を受けたりすることはありません。

●特定の運用会社・保険会社、また手数料の高い商品等に偏った販売は行っておりません。

【図8】一時払保険販売ランキング・割合（指標⑦）

銀行

	保険商品	保険会社	比率
1	悠々時間アドバンス 2 p l u s （円建）	ニッセイ・ウェルス生命	24.3%
2	サニーガーデン E X （外貨建）	メットライフ生命	9.5%
3	やさしさ、つなぐ 2 （円建）	三井住友海上プライマリー生命	7.9%
4	四国の絆 4 （円建）	第一フロンティア生命	6.3%
5	プレミアレシーブ 2 （円建）	第一フロンティア生命	5.9%
6	四国の絆 3 （円建）	第一フロンティア生命	5.9%
7	悠々時間アドバンス 2 p l u s （外貨建）	ニッセイ・ウェルス生命	4.4%
8	ふるはーと J ロード G I I I （外貨建）	住友生命	4.0%
9	プレミアカレンシー 3 （外貨建）	第一フロンティア生命	3.4%
10	外貨建・エブリバディプラス（外貨建）	明治安田生命	3.3%

【図9】販売額上位投信の手数料（参考）

銀行

	ファンド名	手数料率 （上限）
1	日経225ノーロードオープン	0.00%
2	のむラップ・ファンド（普通型）	1.10%
3	米国株式配当貴族（年4回決算型）	2.20%
4	のむラップ・ファンド（積極型）	1.10%
5	グローバル・ロボティクス株式ファンド （年2回決算型）	3.30%
6	（つみたてNISA専用）つみたて先進国株式	0.00%
7	（つみたてNISA専用）フィデリティ・ 米国優良株・ファンド	0.00%
8	インデックスファンドS&P500（アメリカ株 式）	2.20%
9	野村インデックスファンド・日経225	0.00%
10	日経平均高配当利回り株ファンド	2.20%

証券

	ファンド名	手数料率 （上限）
1	のむラップ・ファンド（普通型）	1.10%
2	米国株式配当貴族（年4回決算型）	2.20%
3	日経225ノーロードオープン	0.00%
4	HSBC インド・インフラ株式オープン	3.85%
5	のむラップ・ファンド（積極型）	1.10%
6	日経平均高配当利回り株ファンド	2.20%
7	netWIN GSテクノロジー株式ファンド B （ヘッジなし）	3.30%
8	野村世界業種別投資シリーズ（世界半導体株投 資）	3.30%
9	フィデリティ・世界割安成長株投信Bコース （為替ヘッジなし）	3.30%
10	インデックスファンドS&P500（アメリカ株式）	2.20%

※いよぎんグループの「利益相反管理の方針の概要」はホームページ上にて公表しております。<https://www.iyogin-hd.co.jp/coi.html>

1. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(1) お客さまの金融知識・経験・財産の状況や、お伺いしたニーズおよび目的に照らし、適切な商品・サービスのご提供に努めてまいります

- 銀行
- 証券
- お客さまの金融リテラシー向上に資するよう、各種セミナー開催などを通じて、資産形成・資産運用に有益な情報を提供します。
 - 各営業店でセミナーを実施することにより、地域のお客さまにとってより身近で暮らしにあったセミナーを目指しております。

【図10】お客さま向けセミナー実施状況（指標⑧）

銀行

証券

主催		回数	(うちWEB)
銀 行		426	(15)
	うち営業店	410	(0)
証 券		24	(0)
合 計		450	(15)

- ・投資信託関連セミナー
 - ・ライフプランセミナー
 - ・相続対策セミナー
 - ・初心者向け資産運用セミナー
- ・介護セミナー
 - ・人生100年時代セミナー
 - ・新入社員向けセミナー
 - ・公的年金
- など
- その他、お客さまのご要望に合わせて相談会等を随時実施しております

【図11】情報発信

銀行

- Webコンテンツを活用し、お客さまの金融リテラシー向上に役立つ情報を発信しております。

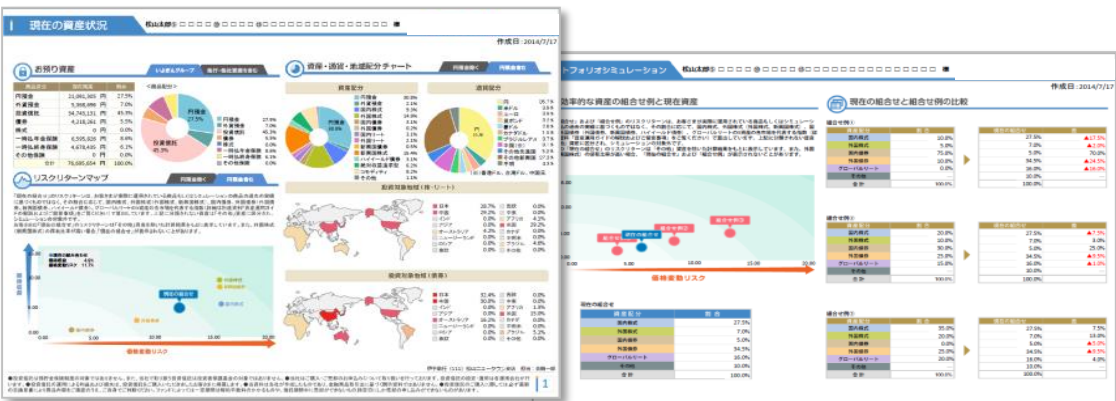


1. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(2) 商品のご提案にあたっては、お客さまの投資判断に資するよう、商品特性・リスク・市況動向などの情報提供を行うとともに、各種手数料の透明性を高め、わかり易く丁寧なご説明を行うよう努めてまいります

- 銀行
- ポートフォリオツールを使用し、お客さまの資産状況やリスク許容度に合わせた分散投資を中心とした情報提供・提案を行っております。
 - 「重要情報シート（金融事業者編）」を活用し金融商品をコスト面からも比較し説明いたします。特に、投資信託については「投資信託手数料等一覧」へ「最大概算手数料額」を記載するなど、手数料を明確化させ、わかり易い表示を目指しております。
 - 複数の金融商品をパッケージとして販売・推奨する場合は、重要情報シート等でお示しするとともに、個別に購入することが可能であるか否かの判断、個別で 購入した場合との比較等が出来るよう情報提供に努めてまいります。

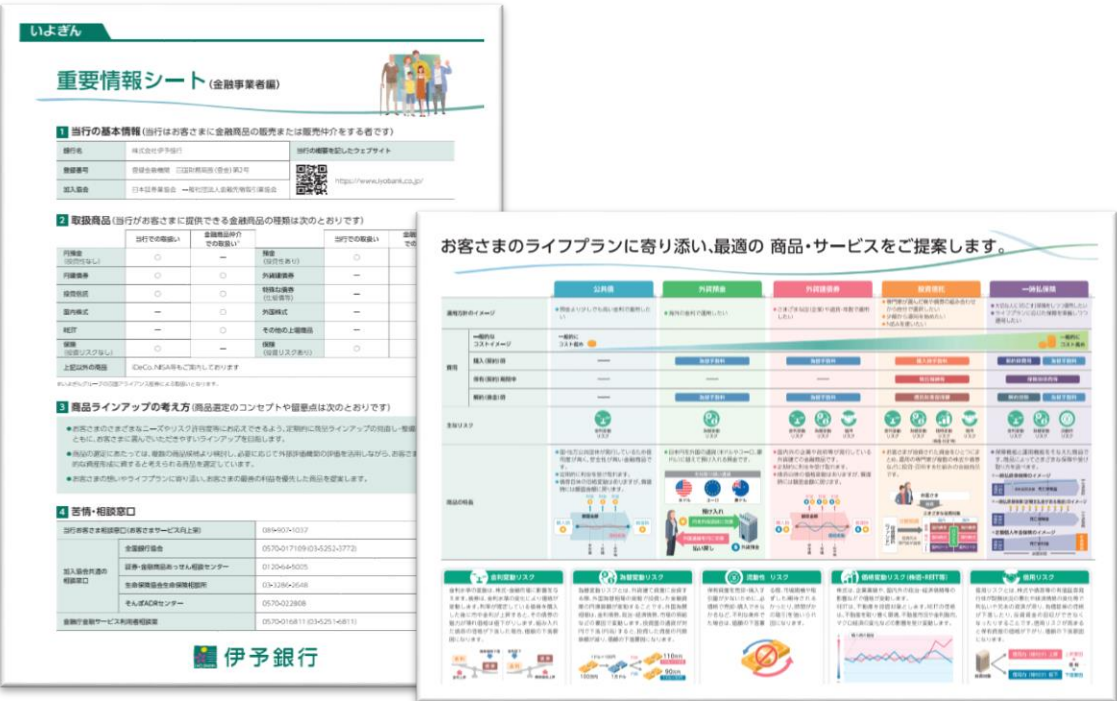
【図12】ポートフォリオツールと手数料一覧



【営業店窓口での取り扱いファンド】

投資対象	積立投資	成長投資	ファンド名	購入時手数料※ 【税込】	運用管理費用 (信託報酬) 【年率・税込】	申込金額 100万円に対する 最大概算手数料額 【税込】	信託財産 留保額
バランスタ	○	○	財産3分法ファンド (不動産・債券・株式)	資産成長型 1,000万円未満	2.20%	21,526円	0.3%
				毎月分配型 1,000万円以上	1.65%		
	○	○	のむらっぴ・ファンド	保守型	1.188%	10,880円	0.3%
				普通型 1億円未満 1億円以上	1.353%		
			積極型	1.518%			

【図13】重要情報シート（金融事業者編）



1. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(2) 商品のご提案にあたっては、お客さまの投資判断に資するよう、商品特性・リスク・市況動向などの情報提供を行うとともに、各種手数料の透明性を高め、わかり易く丁寧なご説明を行うよう努めてまいります

- 銀行
- 商品のご提案にあたっては、お客さまの投資判断に資するよう、商品特性・リスク・市況動向などの情報提供を行うとともに、重要な情報をわかり易く丁寧に説明いたします。
 - 重要な情報については、「契約締結前交付書面」や「交付目論見書」、「重要情報シート（金融事業者編・個別商品編）」等のツールを用いて、お客さまの投資経験や金融知識のほか、商品・サービス等の複雑さやリスクにあわせた、明確で平易な表現等を用いて丁寧に説明いたします。
 - また、パンフレット等を活用し、各資産の特性等をわかり易く説明し、適切な判断ができるよう努めております。

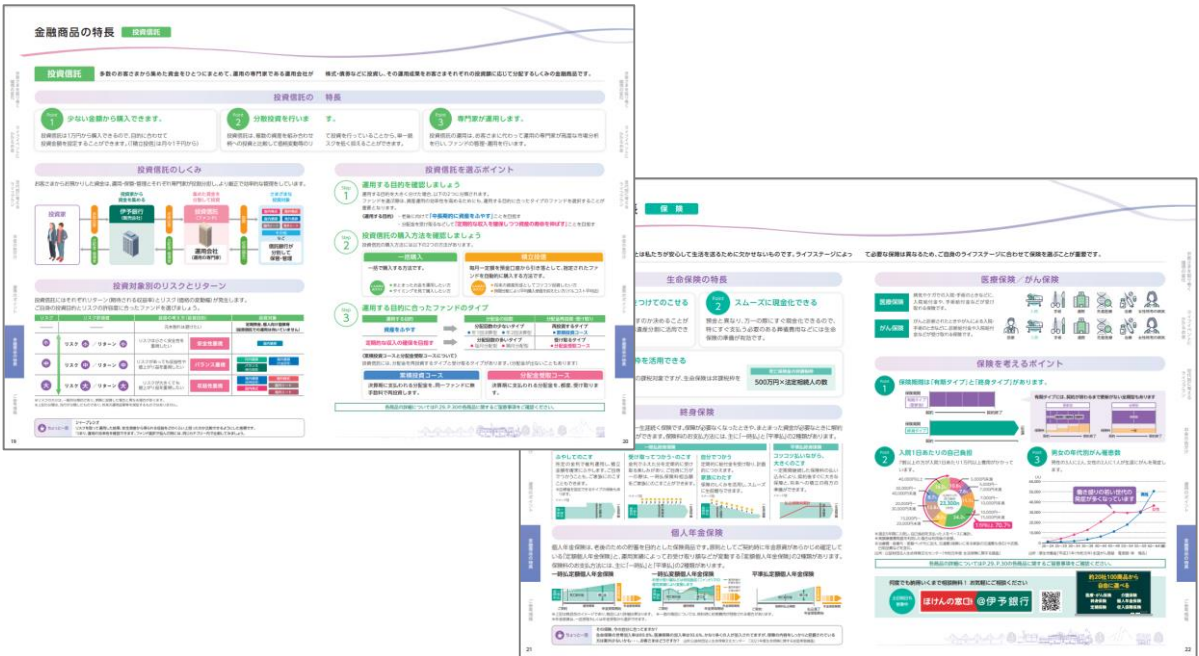
【図14】重要情報シート

伊予銀行	
重要情報シート(個別商品編)	
2025年6月	
のむラップ・ファンド (普通型) 年6%目標分配金受取型・証券投資信託	
1. 商品等の内容 (当社は相處会社等の委託を受け、お客さまに商品の販売を行っています)	
金融商品の名称・種類	のむラップ・ファンド (普通型) 年6%目標分配金受取型・証券投資信託
組成会社 (運用会社)	野村アセットマネジメント株式会社
販売委託元	野村アセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	日本で上場している上場投資信託証券 (ETF) を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長と安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	この商品は、基準価額の年率6% (各決算時1%) 相当の分配 (資金払出し) を目指すことで、中長期的に資産寿命を延ばしながら資産の取り崩しニーズをお持ちの方で、同様の商品に対する知識や投資経験があり、もしくは説明を受け商品性を理解いただける投資家を主に念頭に置いて組成しています。この商品は元本割れリスクを許容でき、安全性と収益のバランスに配慮しつつ積極的な運用を考へる方に適しています。また、より積極的な運用を考へる方の投資も可能です。なお、その他の方が、ポートフォリオの一部として投資する場合は、投資目的などに応じて販売会社等に相談ください。
パッケージ化の有無	この金融商品は、複数のファンドを組み入れるファンド・オブ・ファンズ (FoFs) です。投資先のファンドはFoFs専用の商品 (一般的に低い信託報酬を適用、申込手数料は無手数料の商品) やマザーファンド (信託報酬なし、申込手数料は無手数料の商品) となっていますので、個別に購入することはできません。なお、投資先の外国投資信託はETFを組み入れますが、そのETFの信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出しています。また、個別のETFは証券会社で購入することもできます。
クレンジング・オフの有無	クレンジング・オフ (契約日から一定期間、解除できる仕組み) の適用はありません。
<次のような質問があればお問い合わせください>	
① あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、資産目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。	
② 商品購入後はどのようにして資産状況を確認できるのか。	
2. リスクと運用実績 (本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります。)	
損失が生じるリスクの内容	○ファンドは株式、REIT、債券 (公社債等) に投資を行いますので、各々の資産の市場価格の変動の影響を受けます。○債券 (公社債等) 等には、元利金の支払遅延および支払不履行などが生じるリスクがあります。○原則として為替ヘッジを行ななませんので、為替変動の影響を受けます。
(参考) 過去1年間の収益率	▲1.1% (2025年4月末現在)

お客さまがよりわかり易く重要な情報を比較できるよう、重要情報シートの内容を2025年7月より改訂いたしました！

※重要な情報とは「お客さまが商品・サービス等を判断するのに必要な商品・サービス等のリターンやリスク、取引条件、想定しているお客さまの属性、選定理由等」を表しております。

【図15】各資産の特性 (ライフプランガイド)

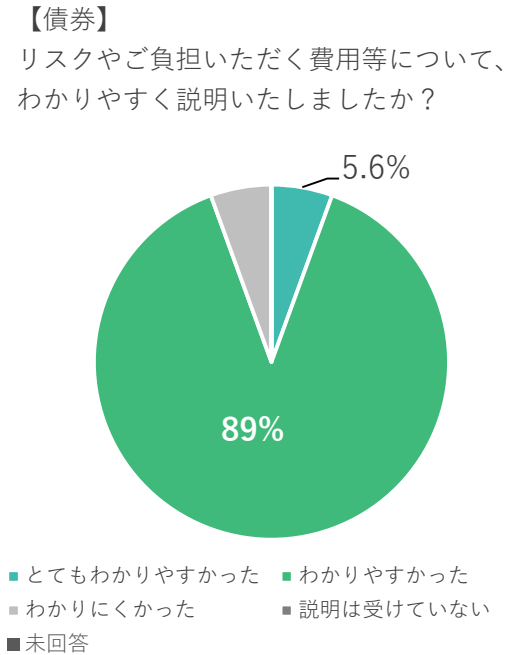
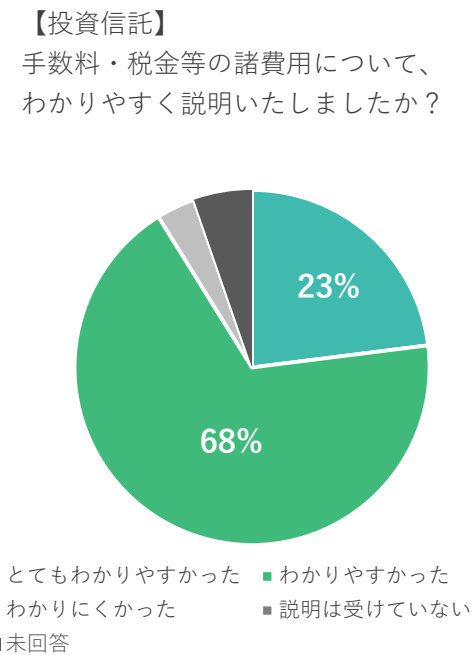


1. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(2) 商品のご提案にあたっては、お客さまの投資判断に資するよう、商品特性・リスク・市況動向などの情報提供を行うとともに、各種手数料の透明性を高め、わかり易く丁寧なご説明を行うよう努めてまいります

- 証券
- お客さまにご負担いただく費用・手数料等の種類や内容、留意点等については、パンフレットやタブレット端末等を用いて、わかり易く説明いたします。
 - 重要情報シート（金融事業者編）を活用し、金融商品をコストの面からも比較し説明します。
 - 投資信託については、「購入時手数料に関するご説明」に、申込金額100万円に対する「概算手数料」を記載するなどわかり易く表示いたします。
 - 複数の金融商品をパッケージとして販売・推奨する場合は、真にお客さまにとって必要なパッケージなのかを検討してまいります。

【図16】お客さま向けアンケートの結果（指標①）



※2025年4月実施

【図17】重要情報シート

四国アライアンス証券

重要情報シート(個別商品編)

2025年6月

フィデリティ・USリート・ファンド B (為替ヘッジなし)

1. 商品等の内容 (当社は組成会社等の委託を受け、お客さまに商品の販売の勧誘を行っています)	
金融商品の名称・種類	フィデリティ・USリート・ファンド B (為替ヘッジなし)
組成会社 (運用会社)	フィデリティ・投資株式会社
販売委託元	フィデリティ・投資株式会社
金融商品の目的・機能	フィデリティ・USリート・マザー・ファンドが米国証券市場への投資を通じて、米国の取引所に上場（これに準じるものを含みます。）されている不動産投資信託（リート）を主要な投資対象とし、配当等収益の確保を図るとともに、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的に運用を行います。
商品組成に携わる事業者が想定する購入額	当ファンドの主要投資対象や運用内容について十分な知識や投資経験があり、主要投資対象や運用内容が自身の投資目的に合致しており、毎月の分配金を享受し、と考えている投資家様にご投資頂くことを想定しております。中長期的に比較的高い投資収益を求めつつ、元本割れリスクおよび分配金支払滞りに元本から払出される可能性も許容する投資家様向けのファンドです。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではありません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

＜次のような質問があればお問い合わせください＞

① 四国アライアンス証券が提供する商品のうち、この商品が私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという価値は何か。

② この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けられるのか。

2. リスクと運用実績 (本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります。)

損失が生じるリスクの内容	当ファンドは、主として不動産投資信託（リート）を投資対象としますので、組入リートの価格の下落や、組入リートの経営・財務状況の悪化およびそれらに関する外部評価の変化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、為替相場の変動等により損失を被ることがあります。 ※主なリスクは以下のとおりです。（以下に限定するものではありません。） 価格変動リスク／為替変動リスク／リートに関するリスク リートの保有する不動産に関するリスク、リート経営に関するリスク、リートに係る規制環境に関するリスク、不動産市場に関するリスク、金利リスク (参考) 過去1年間の収益率 2.8%(2025年04月現在)
(参考) 過去5年間の収益率	平均14.0%/最低-19.9%(2020年10月)/最高58.4%(2021年12月) (2020年05月～2025年04月の各月末における直近1年間の数字)

※ 損失リスクの内容の詳細は「交付目録見書」の2.投資リスク、運用実績の詳細は3.運用実績に記載しています。

＜次のような質問があればお問い合わせください＞

③ 上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。

④ 相対的にリスクが低い類似商品があれば、その商品について説明してほしい。

3. 費用 (本商品の購入または保有には、費用が発生します)

購入時に支払う費用 (販売手数料など)	購入時に適用される基準価額×購入口数に手数料率を乗じた金額となります。 お申込金額 (購入時に適用される基準価額×購入口数)に購入時手数料を加えた金額) に応じて、以下に定める手数料率を適用します。 ＜スウィッチング以外による購入＞ 2.2% (税抜2.0%) ＜スウィッチングによる購入＞ 無手数料
継続的に支払う費用 (信託報酬など)	ファンドの純資産総額に対し、年1.54% (税抜1.40%) (信託報酬＝運用期間中の基準価額×信託報酬率) その他費用・手数料等が実費でファンドから支払われます。これは事前に利率、上限等を表示することはできません。なお、法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等について、年0.10% (税込) を上乗してファンドから支払われます。
運用成果に応じた費用 (成功報酬など)	ありません。

※ 上記以外に生じる費用を含め（詳細は「交付目録見書」の4.手続・手数料等）に記載しています。

＜次のような質問があればお問い合わせください＞

⑤ 私がこの商品に100万円投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。

⑥ 費用がより安い類似商品があれば、その商品について説明してほしい。

4. 換金・解約の条件 (本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります。)

- 当ファンドの償還期間はありません。ただし、ファンドの受益権の残存口数がA (為替ヘッジあり) 及びB (為替ヘッジなし) の合計で30口を下回った場合には、繰上償還となる場合があります。
- 当ファンドに解約手数料は生じませんが、解約した際に発生する有価証券売却コスト等、換金受益者への影響を低減する目的で基準価額に対し0.05%の信託財産留保額を預め、信託財産内に留保します。
- ファンドの資産管理を円滑に行うため、1日1行を単位とする換金はできません。また、大口の換金には別途制限を設ける場合があります。
- 取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情等があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及び既に受付した購入・換金のお申込みの受付を取消する場合があります。
- ニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークにおける銀行の休業日においては、スウィッチングを含めお申込みの受付は行いません。

※ 詳細は「交付目録見書」の4.手続・手数料等に記載しています。

＜次のような質問があればお問い合わせください＞

⑦ 私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5. 当社の利益とお客さまの利益が反する可能性

- 当社がお客様に当ファンドを販売した場合、当社は、お客様が支払う費用（販売手数料、信託報酬等）のうち、組成会社等からファンドの純資産総額に対して年0.66% (税抜0.60%) の手数料を頂きます。これは購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理及び事務手続き等の対価です。
- 当社は、この商品の組成会社等との間で資本関係等の特別な関係はありません。
- 当社の営業活動に対する業績評価上、この商品の販売がほかの商品の販売より高く評価される場合があります。
- 利益相反の内容とその対処方については、当社ホームページ上の「利益相反管理方針」をご参照ください。

＜次のような質問があればお問い合わせください＞

⑧ 四国アライアンス証券が販売する手数料が高い商品など、私の利益より販売会社の利益を優先した商品を私に勧めていないか。また、そのようなことがないかどうかのような対策をとっているのか。

- 11 -

1. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(3) ご契約後の保有資産の状況や市場動向などについて、適時適切かつ丁寧な情報提供を行うとともに、継続的なコンサルティングに努めてまいります

銀行 ●お客さまの欲しい情報をタイムリーにお届けできるよう、SNSやWebの活用をすすめております。

証券 ●ご契約後も様々なツールを用いて、お客さまのニーズやリスク許容度・現状のポートフォリオを見える化・比較し、意向に合わせた見直しをご提案しております。

【図18】SNSやwebの活用

銀行

証券



※デジタルを活用し、様々な方法で
お客さまへ情報をお届けしております。

【図19】Wealth Advisor

銀行



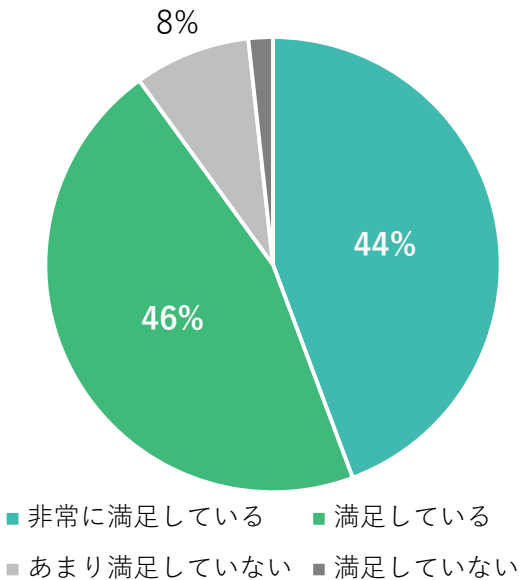
1. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(3) ご契約後の保有資産の状況や市場動向などについて、適時適切かつ丁寧な情報提供を行うとともに、継続的なコンサルティングに努めてまいります

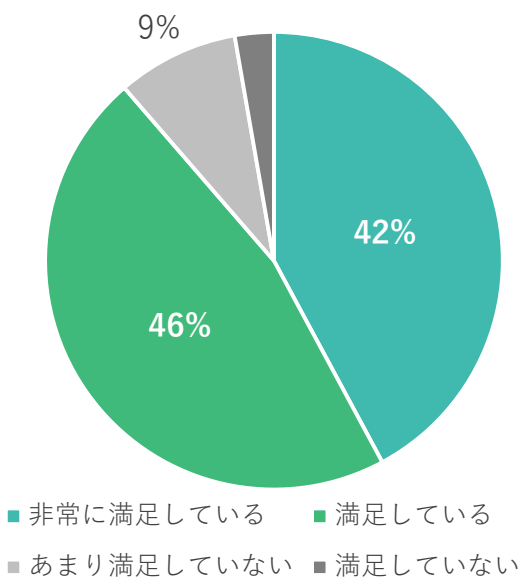
- 銀行
- 今後もお客さまに安心していただけるよう、定期的な対面・電話でのアフターフォローに加え、相場下落時等には適時適切な情報提供・フォローを行ってまいります。
 - お客さまにご満足いただけるお客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践に努めてまいります。

【図20】お客さま向けアンケートの結果（アフターフォロー等）（指標①）

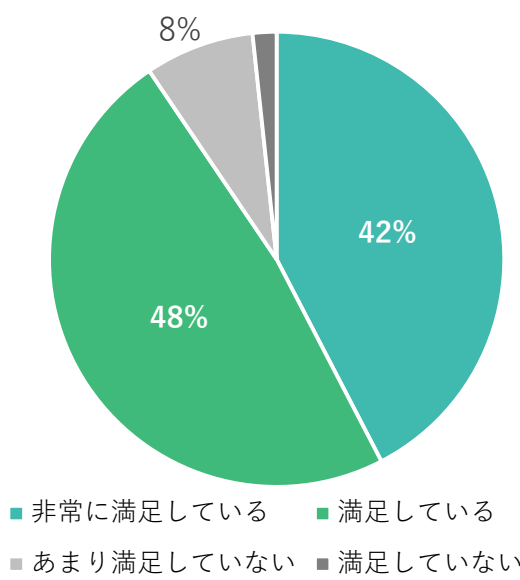
リスク性金融商品購入後のアフターフォロー（市況環境や時価評価、損益状況等）を適切な頻度で定期的に行うことへのご評価（満足度）



損失リスクが高まったら、速やかに連絡することへのご評価（満足度）



リスク性金融商品の売買の判断に役立つ情報やアドバイスが提供されることへのご評価（満足度）

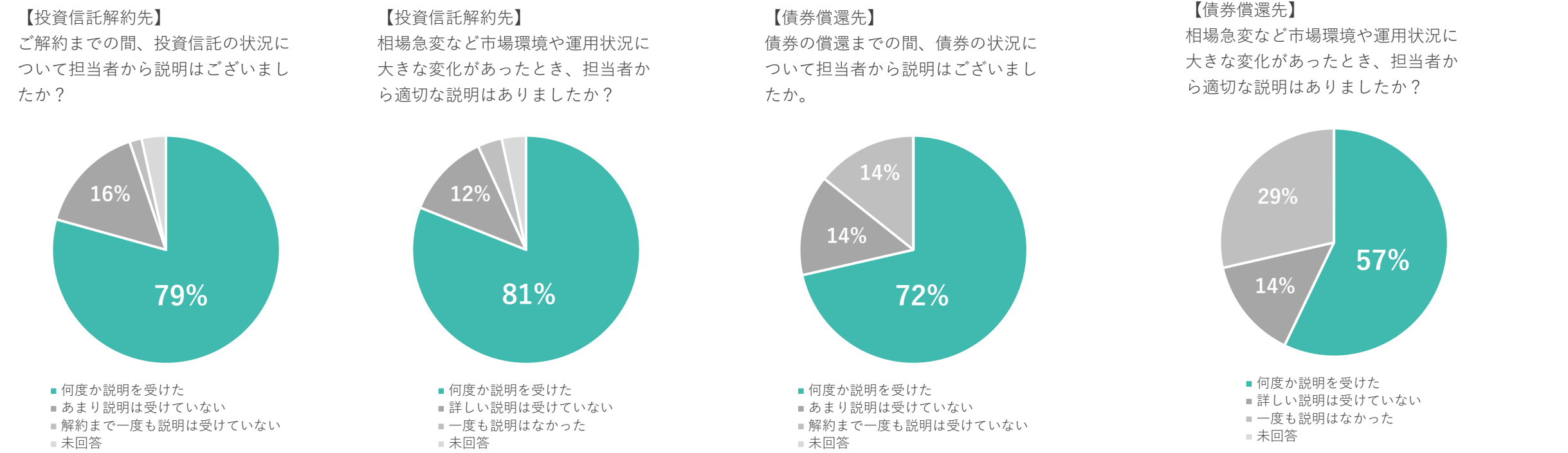


1. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(3) ご契約後の保有資産の状況や市場動向などについて、適時適切かつ丁寧な情報提供を行うとともに、継続的なコンサルティングに努めてまいります

- 証券
- 当社のアフターフォロー・ルールに基づき、定期的にお客さまに情報提供を行い、お客さまが保有する商品の運用状況や相場環境などの情報をわかり易くお伝えいたします。
 - 市場動向が急変した場合には、お客さまの不安を解消するために、迅速にアフターフォローを行います。

【図21】お客さま向けアンケートの結果（アフターフォロー等）（指標①）



2. お客様の多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備

お客様の投資目的やリスク許容度等に応じ、適切な商品をご選択いただけるよう、商品ラインアップの整備に努めてまいります

- 銀行
- お客様の様々なニーズやリスク許容度等にお応えできるよう、定期的に商品ラインアップの見直し・整備を行っております。
 - お客様に選んでいただきやすいよう、商品概要や主な投資リスク、運用実績等を記載した投資信託ダイジェストブックやWebページを作成しております。
 - 投資信託・保険商品・外国債券・仕組債等の金融商品の組成に携わっておりませんが、組成会社の取組み等の把握に努めております。

【図22】商品ラインアップ（指標⑨）

<投資信託>		<貯蓄性保険>	
投資対象	商品数	商品種類	商品数
国内・債券	3	円建・定額年金	5
海外・債券	34	円建・終身	8
国内・株式	19	外貨建・定額年金	8
海外・株式	46	外貨建・変額年金	1
国内・リート	4	外貨建・終身	14
海外・リート	5	合計	36
バランス	40		
その他	2		
合計	153		

※うちノーロード：41、ネット専用：32
※受益者0名の2ファンドは含まない
※2025年3月末時点

【図23】商品比較ツール

商品のご案内

基日：2024年3月29日

カテゴリー	ファンド名 投資会社名	経緯 ¹⁾ 銘柄	ファンドの特徴	決算日	基準価額 運用日	ファンドにかかる費用 ²⁾ 購入時手数料(税込) ³⁾	運用管理費用 ⁴⁾ (税込)※ 年率(税込)	信託財産 ⁵⁾ 担保	換金(解約) 代金入金日	主なリスク ⁶⁾
国内債券	ビクテ・アセット・アロケーション・ファンド (1年決算型) 愛称:「ノアリザープ1年」 ※2024年6月3日以降、店頭での新規申込停止予定 ビクテ・ジャパン	新規 ¹⁾ ノア1年	主に世界の株式、債券、金などに分散投資します。投資にあたっては、委託会社が各資産の収益とそのリスクを分析して投資機会を識別し、その配分比率を決定します。また、購入後、毎月1回、収益配分は自動的に再投資されます。	8月15日	お申込日の 翌営業日	1億円未満: 1.100% 1億円以上: なし	最大1.6280% 程度	なし	7営業日目	市場価格変動リスク 信用リスク 為替リスク 流動性リスク その他のリスク
国内債券	ビクテ・アセット・アロケーション・ファンド (毎月分配型) 愛称:「ノアリザープ」 ※2024年6月3日以降、店頭での新規申込停止予定 ビクテ・ジャパン	新規 ¹⁾ ノアリザープ	主に世界の株式、債券、金などに分散投資します。投資にあたっては、委託会社が各資産の収益とそのリスクを分析して投資機会を識別し、その配分比率を決定します。また、購入後、毎月1回、収益配分は自動的に再投資されます。	毎月15日	お申込日の 翌営業日	1億円未満: 1.100% 1億円以上: なし	最大1.6280% 程度	なし	7営業日目	市場価格変動リスク 信用リスク 為替リスク 流動性リスク その他のリスク
国内債券	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式) 資産成長型 日興アセットマネジメント	新規 ¹⁾ 3分法成	投資信託証券への投資を通じて、3つの異なる資産(不動産、債券および株式)に分散投資を行い、高いインカム収益の確保と安定した信託財産の成長を目指します。原則として各資産の基本組入比率は、不動産等25%、債券50%(先進国債券15%・高金利海外債券35%)、株式25%となります。	7月10日	お申込日の 翌営業日	1千万円未満: 2.200% 1千万円以上: 1.650%	1.0450%	0.3%	5営業日目	市場価格変動リスク 信用リスク 為替リスク 流動性リスク その他のリスク
国内債券	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式) 毎月分配型 日興アセットマネジメント	新規 ¹⁾ 3分法	投資信託証券への投資を通じて、3つの異なる資産(不動産、債券および株式)に分散投資を行い、高いインカム収益の確保と安定した信託財産の成長を目指します。原則として各資産の基本組入比率は、不動産等25%、債券50%(先進国債券15%・高金利海外債券35%)、株式25%となります。	毎月10日	お申込日の 翌営業日	1千万円未満: 2.200% 1千万円以上: 1.650%	1.0450%	0.3%	5営業日目	市場価格変動リスク 信用リスク 為替リスク 流動性リスク その他のリスク
国内債券	のむろっぴー・ファンド(保守型) 野村アセットマネジメント	新規 ¹⁾ のらぶ保	安定した収益の確保と信託財産の健全な成長を図ることを目的として運用を行います。国内株式で「サファード」に属するMSCI-KOKUSAIで「サファード」に属するREITインデックス「サファード」への投資比率の上限は、原則として、信託財産の総資産額に対して50%以内とします。	2月18日	お申込日の 翌営業日	1億円未満: 1.100% 1億円以上: なし	1.1880%	0.3%	5営業日目	市場価格変動リスク 信用リスク 為替リスク 流動性リスク その他のリスク

ファンドランキング

基日：2024年06月14日現在
評価日：2024年05月31日現在

法務情報 | 基金情報 | トータルリターン | 標準偏差 | シェア・パフォーマンス | 利回り

10件のファンドがご覧いただけます。

基本情報 | シタール・費用情報

期間に入りに参照 | チェックした投資履歴を(※5つまで選択可能) | 比較する

順位	カテゴリー	お気に入り	ファンド名	運用会社	トータルリターン 1年	標準偏差 1年	シェア・パフォーマンス 1年	平均 1年	信託財産 (円)	比較
1	海外株式	※	本投資信託は、米国株式(全米株式)に投資する。投資対象は、米国株式(全米株式)に投資する。	野村	24.43%	14.27	1.73	2.2%	資産0.55% (税込)	
2	バランス	※	のむろっぴー・ファンド(資産成長型)	野村	16.25%	7.93	2.05	1.1%	年率1.32% (税込)	
3	国内株式	※	日興アセットマネジメントのむろっぴー・ファンド(保守型)	三井住友	17.22%	12.87	4.45	2.3%	資産0.69% (税込)	

※様々な情報からお客様が
選んでいただけるよう情報をお届け
しております。

2. お客様の多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備

お客様の投資目的やリスク許容度等に応じ、適切な商品をご選択いただけるよう、商品ラインアップの整備に努めてまいります

- 証券
- 新しい金融商品・サービスを採用するときは、お客様の中長期的な資産形成・資産運用に資することを、多面的に検討した上で商品採用を行い、随時既存商品の見直しを実施します。
 - 投資信託・保険商品・外国債券・仕組債等の金融商品の組成に携わっておりませんが、組成会社の取組み等の把握に努めております。

【図24】投資信託カテゴリ別商品ラインアップ数および投資信託取扱い商品改廃状況（新規採用含む）（指標⑩）

カテゴリ		2023年3月末	2024年3月末		2025年3月末	
		商品数	商品数	増減	商品名	増減
株式	国内株式	9	9		10	+1
	内外株式	31	31		33	+2
	海外株式	26	26		26	
債券	国内債券	2	2		2	
	内外債券	7	7		7	
	海外債券	24	24		21	-3
REIT	国内REIT	2	2		2	
	内外REIT	2	2		2	
	海外REIT	4	4		4	
バランス	内外バランス	31	31		30	-1
	海外バランス	1	1		1	
その他	内外その他	3	0	-3	0	
	海外その他	6	6		6	
ブルベア	国内ブルベア	2	2		2	
インデックス		23	23		24	+1
NISA専用		9	9		10	+1
合計（ラインナップ数）		182	179	-3	180	+1
うちノーロード		41	41	0	41	0

3. お客さま本位の体制整備

- (1) お客さまのニーズや利益に適う営業活動を評価するために、評価のあり方を随時見直してまいります
- 銀行

証券

 - 各社において、より良い営業体制を構築できるよう、随時評価のあり方を見直しております。
 - よりお客さま目線の行動を取るよう意識づけを行っており、結果ではなくお客さまの役に立った過程を評価しております。
 - 銀行においては、お客さまのニーズや利益に適う営業活動をより浸透させるため、業績表彰制度を廃止しております。
 - 証券においては、営業実績だけでなく、お客さまとの接触状況やアフターフォロー実施状況等、販売前および販売後プロセスをより重視した評価手法を導入し、随時見直しを実施しております。

【図25】営業店評価（社員評価）の改正状況（指標⑪）

証券	
時 期	変 更 概 要
2021年4月	営業実績評価における残高項目（約60%⇒約64%）、銀行への情報提供項目（約3%⇒約7%）に対する割合を変更
2021年10月	お客さまとの接触やアフターフォロー実施状況等を充実させるため、営業活動におけるプロセス評価（約30%⇒約35%）に対する割合を変更
2022年4月	お客さまのニーズを幅広くキャッチし、必要に応じてグループ会社（伊予銀行や関連会社）にご紹介し、総合的なサービスを提供することで、グループ一体でお客さまのニーズに応えるべく、銀行への情報提供項目（約8%⇒約15%）に対する評価割合を変更
2022年10月	お客さまとの接触機会の増加等を目的として、営業活動におけるプロセス評価（約35%⇒約40%）に対する割合を変更
2023年4月	新たに「時間分散投資」「NISA活用」を推奨する観点から、積立投信やNISA制度に関する項目を評価項目に追加
2024年4月	評価項目から総収入（販売手数料・信託報酬）を削除し、よりプロセス重視（預り残高増加額、新規先件数等、そのほか行動管理基準）の評価体系に変更
2025年4月	各営業部店が自店の課題を抽出し、自ら戦略を立案、実行する運用を開始

3. お客さま本位の体制整備

(2) お客さまのニーズを踏まえ、必要に応じてグループ会社をご紹介するなど、グループ一体となってご要望にお応えするよう努めてまいります

銀行

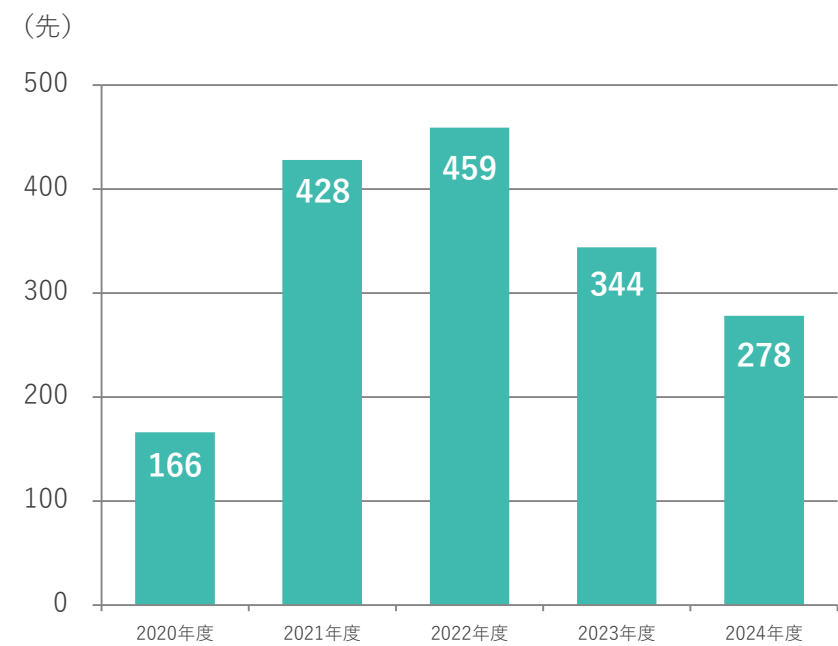
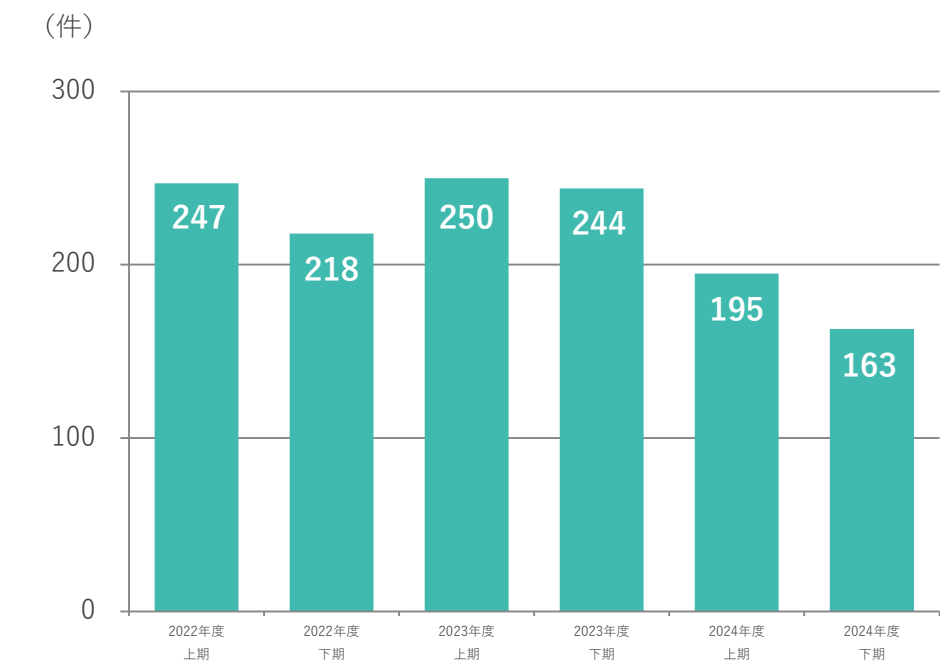
●四国アライアンス証券等と連携し、グループ一体となってお客さまの資産形成・資産運用サポートをサポートしております。

証券

●お客さまのお求めになるものは一人ひとり異なるため、それぞれのお客さまのお気持ちや状況をよく把握し、最もお客さまのためになる、いよぎんグループならではの地域N O.1のサービスの提供に心がけております。

【図26】 四国アライアンス証券紹介口座開設件数（指標⑫）

【図27】 運用以外のニーズを伊予銀行へ共有した件数（指標⑬）



【ニーズ共有後主な成約内容】

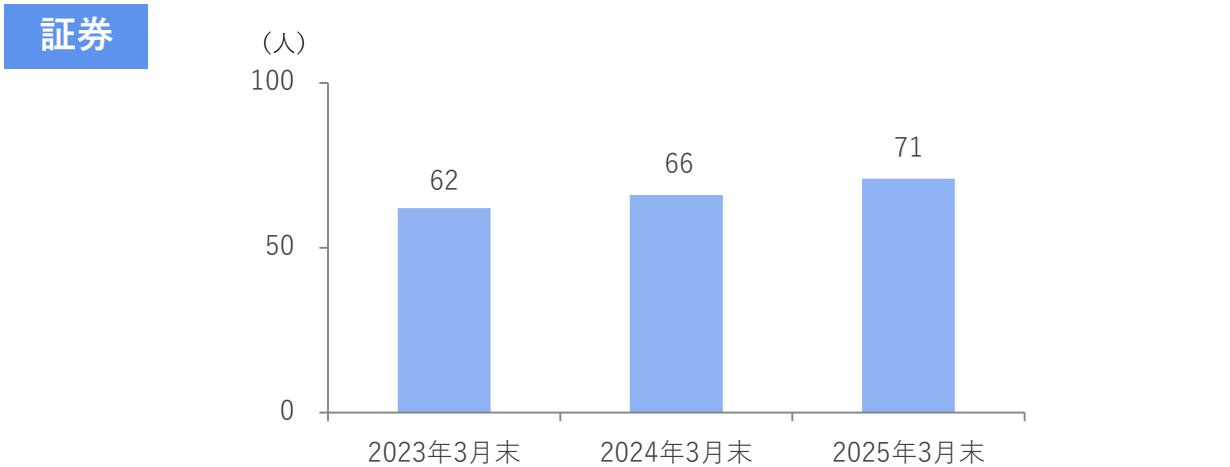
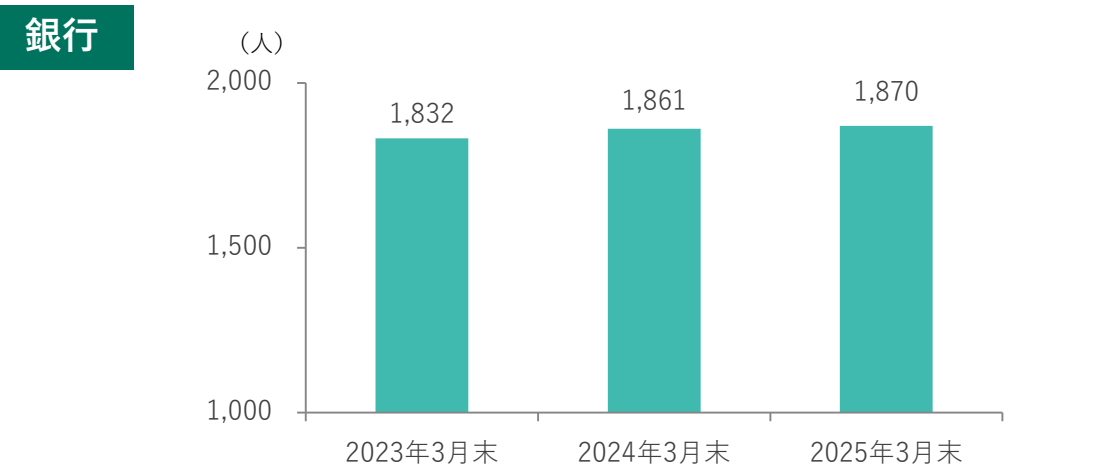
- ・ 個人保険
- ・ 法人保険
- ・ 遺言書作成
- ・ 遺言信託
- ・ 遺産整理業務
- ・ 不動産小口化商品
- ・ 不動産売却
- ・ 設備のリース契約 等

4. 多様化・高度化するニーズに対応できるプロフェッショナル人財の育成

(1) 研修や各種専門資格の取得奨励等を通じ、商品や市況環境などについて、金融のプロとしての専門知識・スキル向上を継続的に図ってまいります

- 銀行
- 証券
- 金融のプロフェッショナルとして、専門的な情報をわかり易くお伝えし様々なニーズに対応するため、継続的な知識習得に努めてまいります。
 - 積極的にコンサルティング能力の向上や専門資格の取得に取り組めるよう、各種施策を展開し人財を育成してまいります。

【図28】 専門資格保有者数（指標⑭）



【資格内訳（のべ人数）】

	C F P 資格	F P 技能士 1 級	A F P 資格	F P 技能士 2 級
2023年3月末	20	161	49	1,817
2024年3月末	20	182	49	1,847
2025年3月末	20	190	49	1,857

【資格内訳（のべ人数）】

	証券アナリスト	C F P 資格	F P 技能士 1 級	A F P 資格	F P 技能士 2 級
2023年3月末	7	0	2	2	59
2024年3月末	9	0	6	2	64
2025年3月末	8	0	4	1	69

（２）研修等を通じて、役職員全員が本方針を実践するよう努めてまいります

●定期的な勉強会や研修を通じて、役職員の意識醸成に取り組んでまいります。

●管理職自らが講師を務める等、上席の関与を高める工夫をしています。

●管理職がより具体的な行動や指示ができるよう、階層別の研修・勉強会を実施するとともに、僚店の好事例を共有するなど提案力の向上に努めております。

【図29】 主な行員・社員向けセミナーなど（指標⑮）

【主な研修内容と対象】

内容	対象
税制・FP知識	全行員
マーケット関連	
金融商品関連	
ローン関連	
介護・相続関連	
公的年金・社会保障制度関連	
ライフプランを踏まえたトータル提案	
運用商品基礎知識	若手行員
コンサルティングの実践・価値提供力の向上	中堅行員

【主な研修内容と回数】

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
マーケット関連	20	46	96	109
投資信託商品関連	24	53	139	45
その他商品等	22	19	44	62
外部セミナー派遣数	8	16	21	49
合計	74	134	300	265

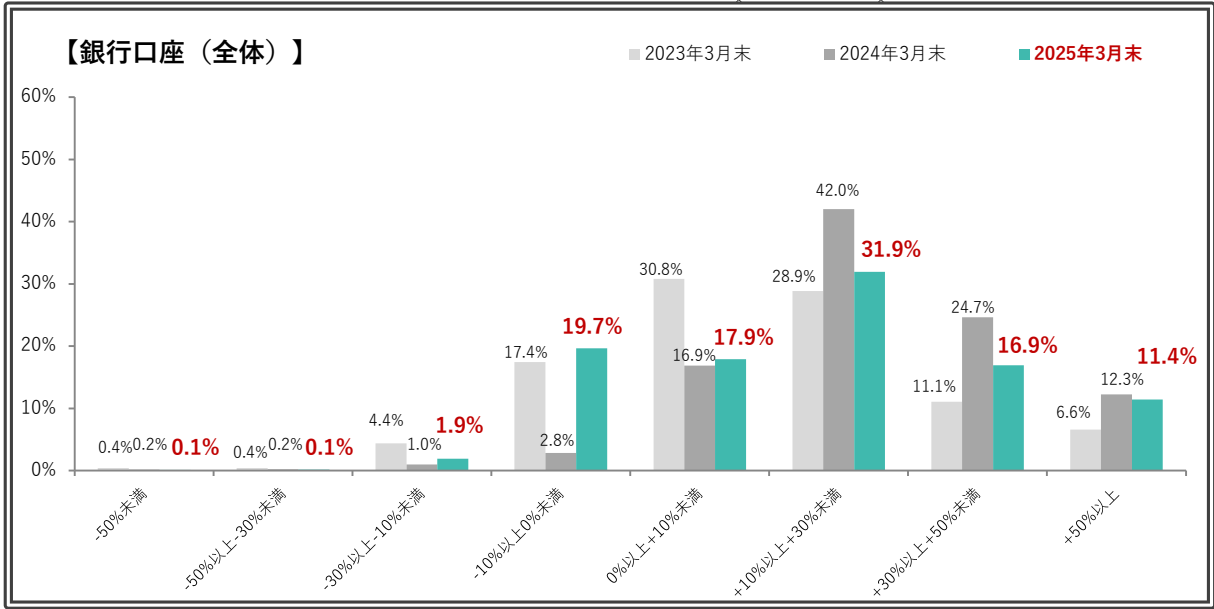
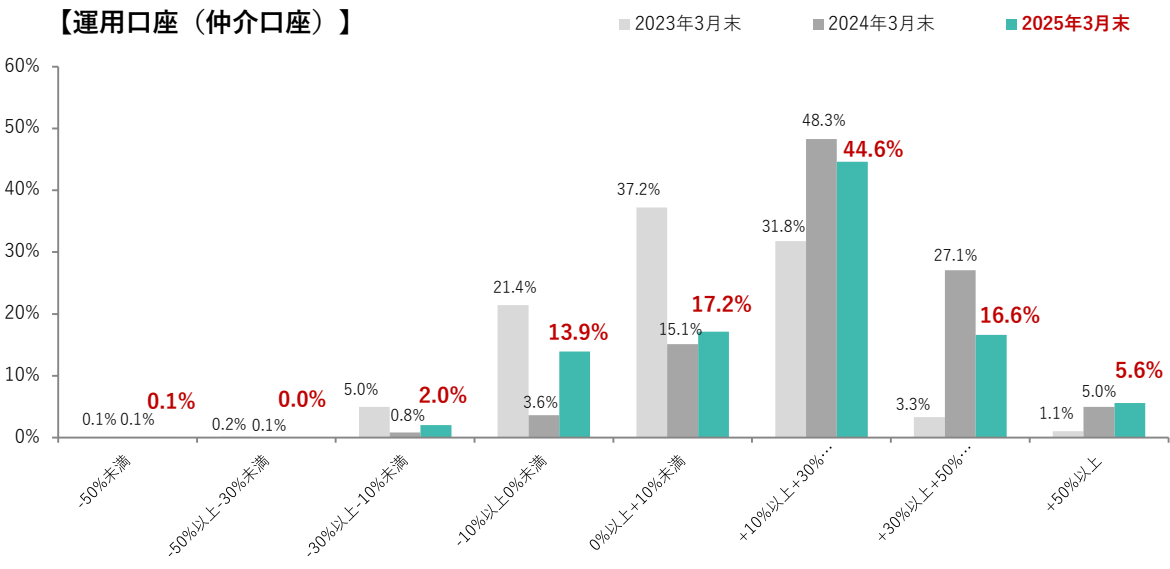
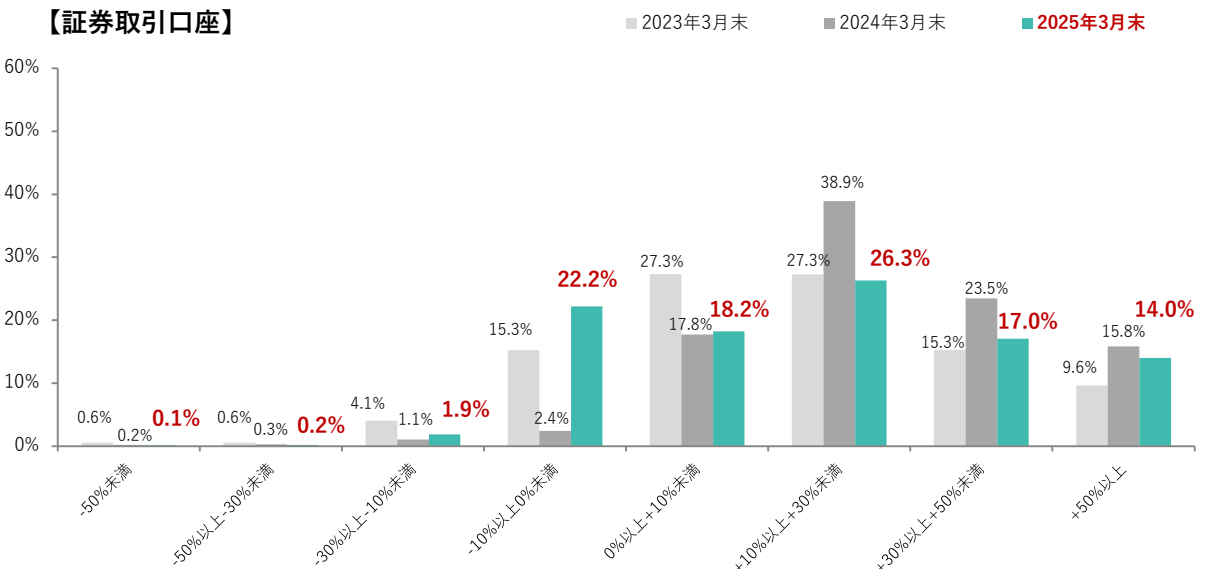
【主な研修（マーケット以外）】

- ・課題解決
 - ・部下育成
 - ・ウェルスマネジメント
 - ・組織マネジメント
 - ・営業手法
 - ・デジタルビジネス
- 等

【参考】比較可能な共通KPI（銀行_投資信託①）

銀行

投資信託の運用損益別顧客比率



【運用損益プラスのお客さま比率】

	2023年3月末	2024年3月末	2025年3月末
銀行口座（全体）	77.3%	95.8%	78.2%
うち証券取引口座	79.5%	96.0%	75.6%
うち運用口座（仲介口座）	73.3%	95.4%	84.0%

※当行では、投資信託を取扱う口座が「証券取引口座」「運用口座（仲介口座）」の2種類あり、
「銀行口座（全体）」とはその2種類の口座をあわせた銀行全体での投資信託保有口座を示します。

【参考】比較可能な共通K P I（銀行_投資信託②）

銀行

投資信託の預り残高上位20銘柄

【預り残高上位20銘柄】

	ファンド名	投資対象
1	のむラップ・ファンド（普通型）	バランス
2	米国株式配当貴族（年4回決算型）	海外・株式
3	フィデリティ・U S リート・ファンドB（為替ヘッジなし）	海外・リート
4	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年2回決算型）	海外・株式
5	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	海外・株式
6	H S B C インドオープン	海外・株式
7	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	海外・株式
8	投資のソムリエ	バランス
9	n e t W I N G Sテクノロジー株式ファンド B（ヘッジなし）	海外・株式
10	のむラップ・ファンド（積極型）	バランス
11	フィデリティ・Jリート・アクティブ・ファンド	国内・リート
12	G S 米国成長株集中投資ファンド 毎月決算コース	海外・株式
13	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	バランス
14	ニッセイ日本勝ち組ファンド	国内・株式
15	フルンクリン・テンプレートン・オーストラリア高配当株ファンド（毎月）	海外・株式
16	グローバル好配当株オープン	海外・株式
17	H S B C インド・インフラ株式オープン	海外・株式
18	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	海外・債券
19	のむラップ・ファンド（保守型）	バランス
20	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	海外・株式

※2025年3月末時点

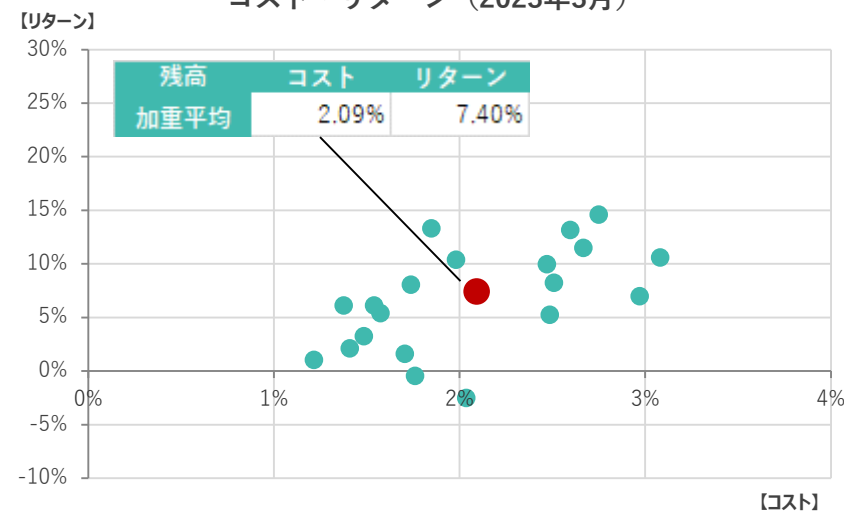
設定5年以上の投資信託が対象

【参考】比較可能な共通KPI（銀行_投資信託③）

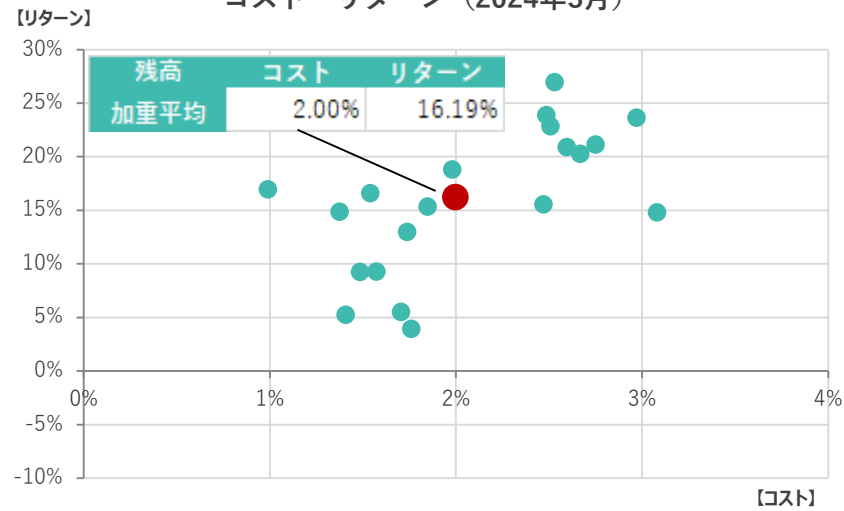
銀行

投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン

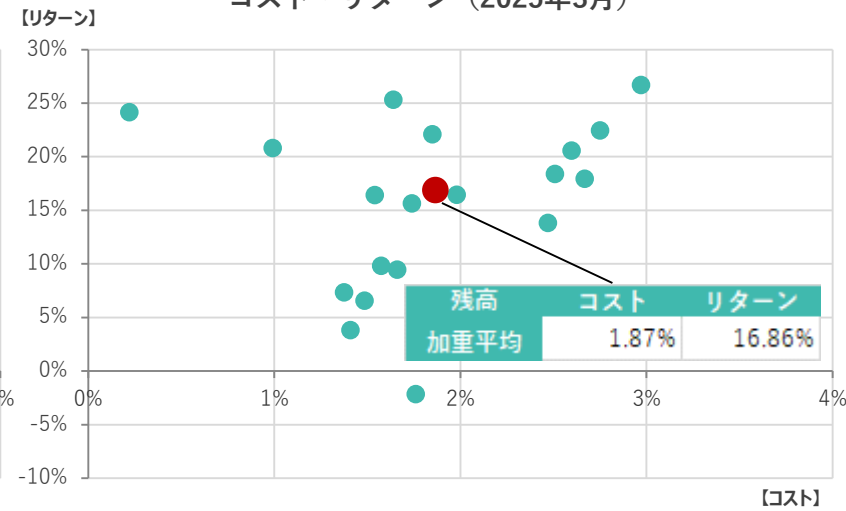
コスト・リターン（2023年3月）



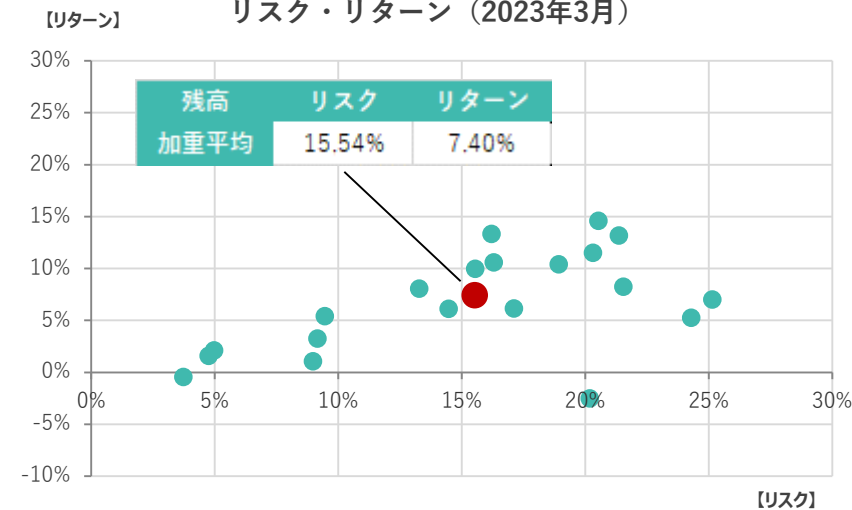
コスト・リターン（2024年3月）



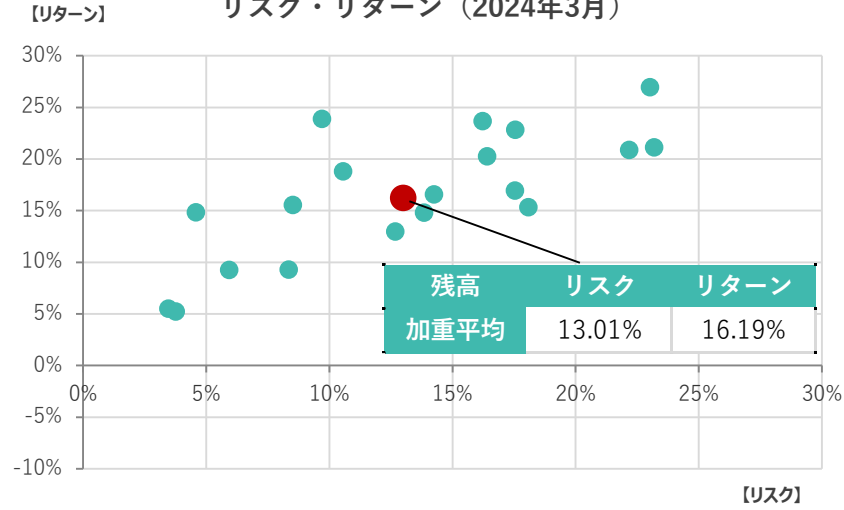
コスト・リターン（2025年3月）



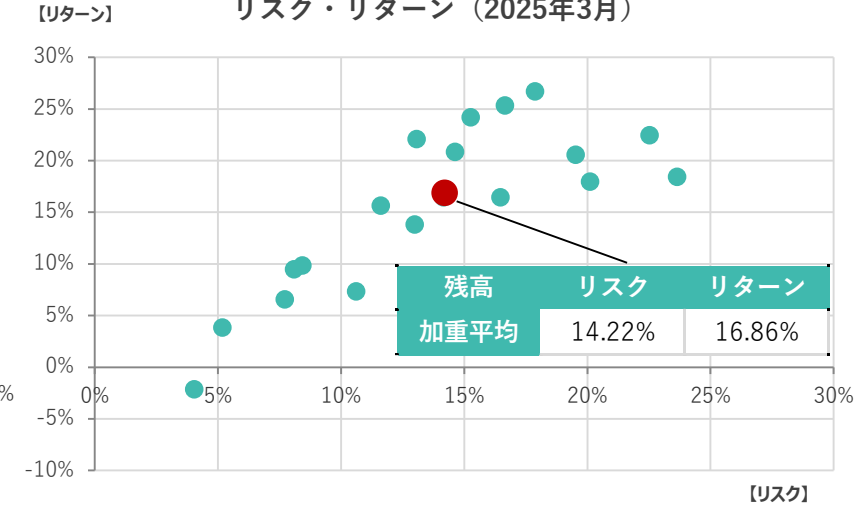
リスク・リターン（2023年3月）



リスク・リターン（2024年3月）



リスク・リターン（2025年3月）



【参考】比較可能な共通K P I（銀行_外貨建保険①）

銀行

外貨建保険の基準残高上位20銘柄

【基準残高上位20銘柄】

	商品名
1	サニーガーデン E X
2	四国の絆（きずな）
3	やさしさ、つなぐ
4	サニーガーデン
5	三大陸
6	ロングドリーム G O L D 2
7	ビー ウィズ ユー プラス
8	しあわせ、ずっと
9	ロングドリーム G O L D 3
10	ふるはーと J ロードグローバル
11	ロングドリーム G O L D
12	しあわせ、ずっと 2
13	デュアルドリーム
14	ビーウィズユー（U S ドル建）
15	夢のプレゼント 2
16	外貨エブプラス米
17	ビーウィズユー（豪ドル建）
18	シリウスハーモニー
19	円貨エブプラス米
20	円貨エブプラス豪

※2025年3月末時点

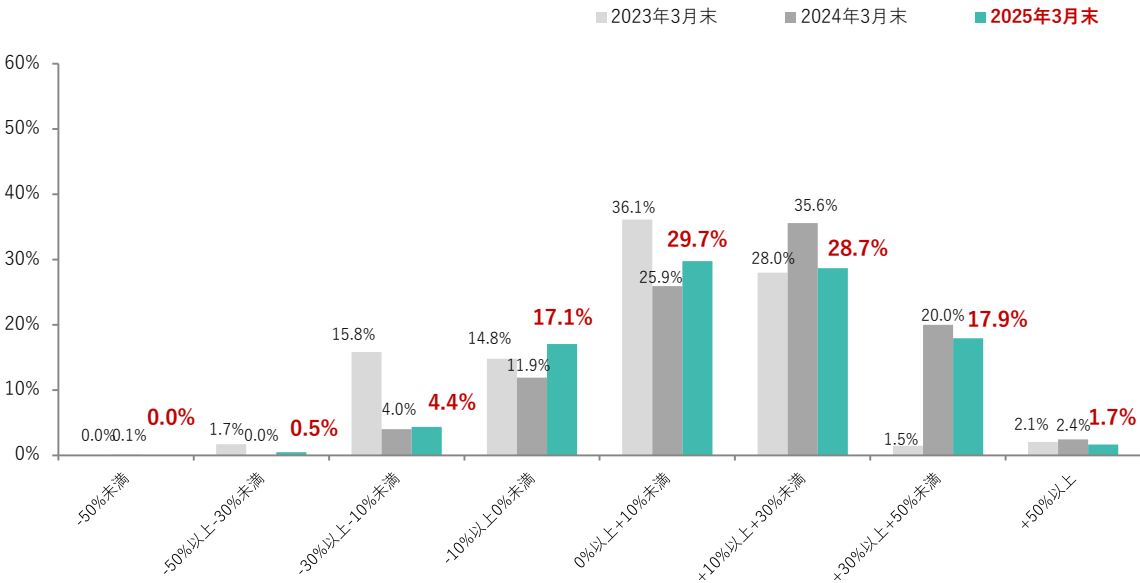
※外貨建一時払保険のうち、保険契約開始から60か月以上経過した契約が存在する銘柄

※対象となる契約にかかる基準日時点の解約返戻金額 + 基準日時点の既支払金額の合計額で、最大上位20銘柄

【参考】比較可能な共通KPI（銀行_外貨建保険②）

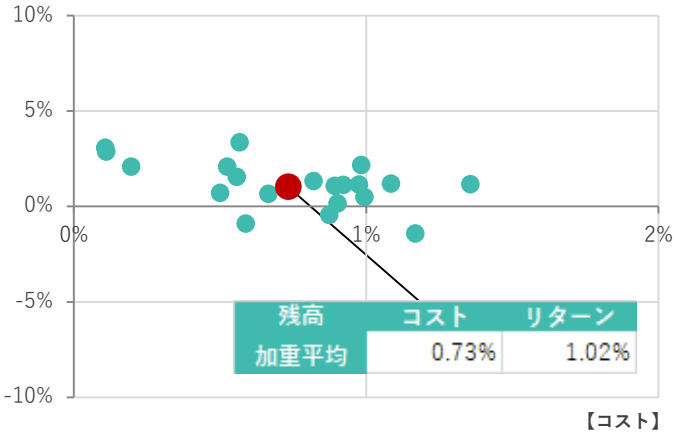
銀行

外貨建保険の運用評価別顧客比率

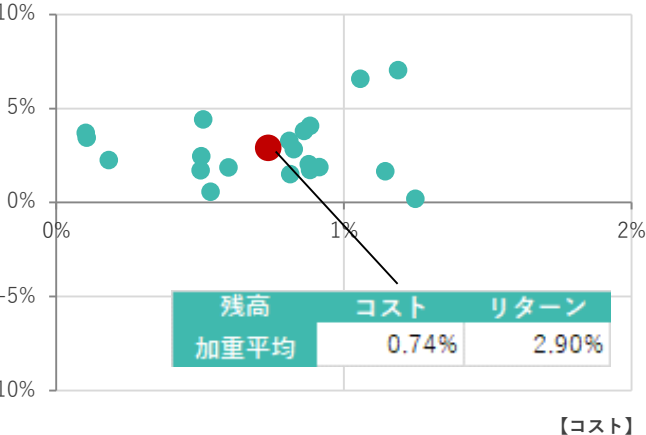


外貨建保険の基準上位20銘柄のコスト・リターン（注）

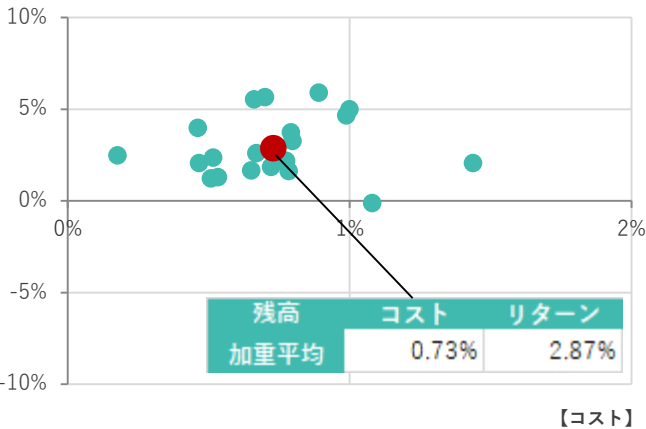
【リターン】コスト・リターン（2023年3月）



【リターン】コスト・リターン（2024年3月）



【リターン】コスト・リターン（2025年3月）

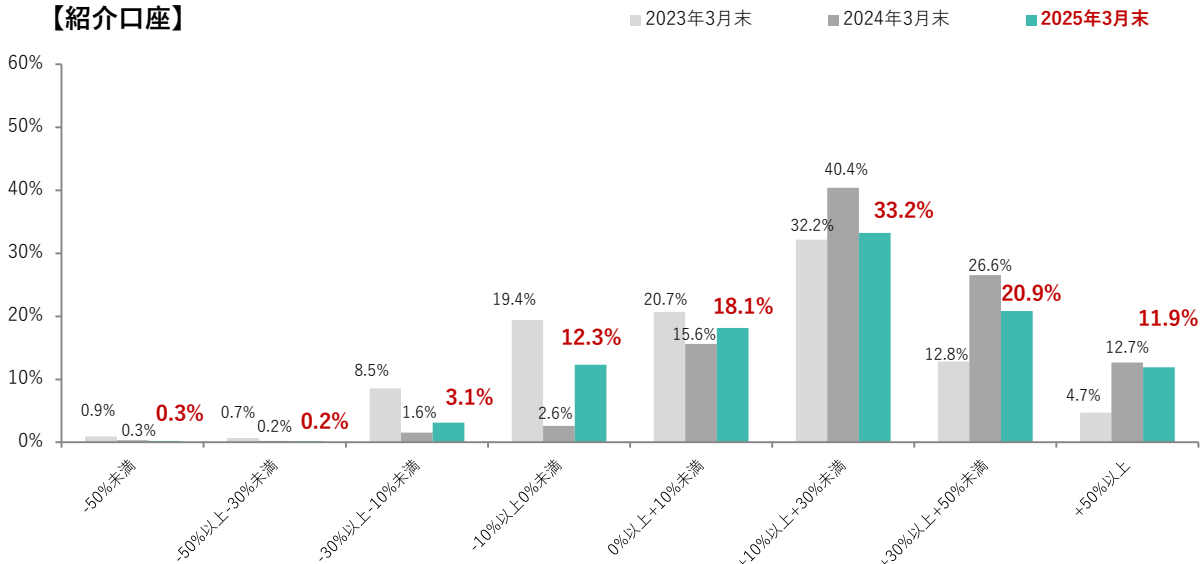


- （注）
- コスト：原則、保険会社における当該銘柄の保有全契約のうち、保険契約開始から60か月以上経過した契約（基準日時点で有効であるもの）を対象に、当該銘柄を組成する保険会社にて算出される、各契約に適用されている新契約手数料率及び継続手数料率を各契約の契約時点の一時払保険料（円換算）で加重平均した値を使用
 - リターン：（基準日時点の解約返戻金額+基準日時点の既支払金額-契約時点の一時払保険料）÷（契約時点の一時払保険料）【年率換算】

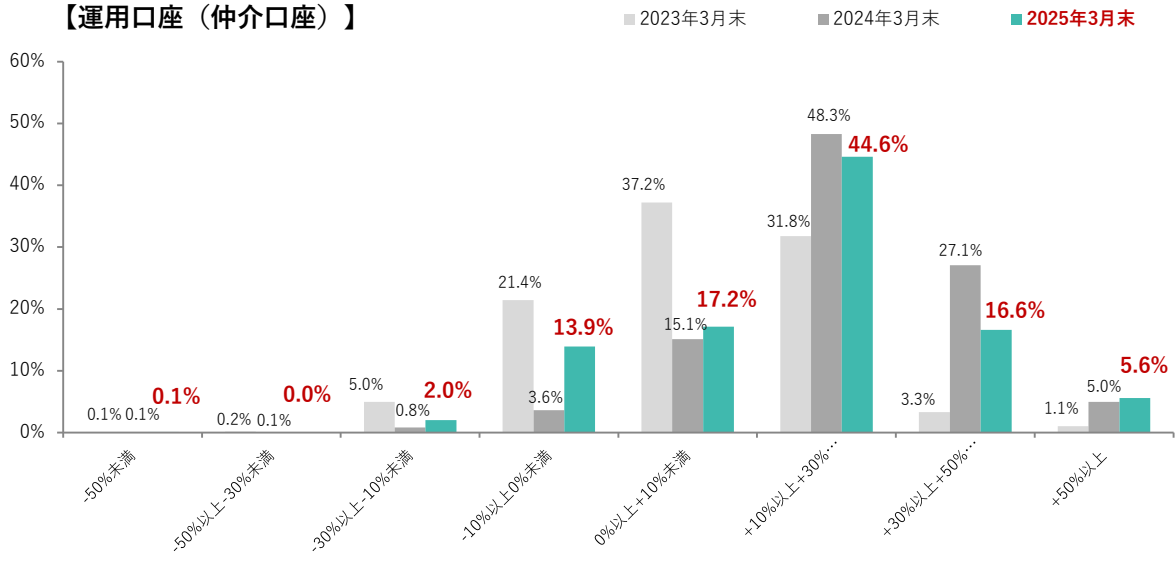
※外貨建保険には保障機能が備わっていますが上記KPIには反映されておりません。
※また、手数料条件も異なるため、同条件で投資信託と比較することは出来ませんのでご注意ください。

投資信託の運用損益別顧客比率

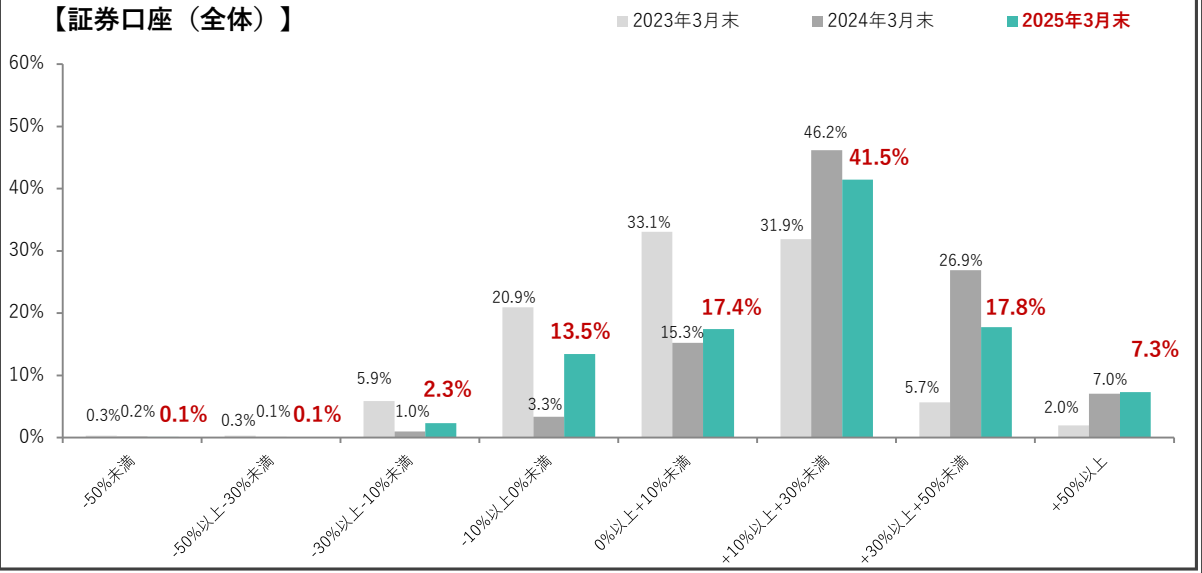
【紹介口座】



【運用口座（仲介口座）】



【証券口座（全体）】



【運用損益プラスのお客さま比率】

	2023年3月末	2024年3月末	2025年3月末
証券口座（全体）	72.6%	95.4%	84.0%
うち紹介口座	70.4%	95.3%	84.2%
うち運用口座（仲介口座）	73.3%	95.4%	84.0%

【参考】比較可能な共通K P I（証券_投資信託②）

証券

投資信託の預り残高上位20銘柄

【預り残高上位20銘柄】

	ファンド名	投資対象
1	のむラップ・ファンド（普通型）	バランス
2	米国株式配当貴族（年4回決算型）	海外・株式
3	グローバル・ロボティクス株式ファンド（年2回決算型）	海外・株式
4	n e t W I N G Sテクノロジー株式ファンド B（ヘッジなし）	海外・株式
5	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	海外・株式
6	のむラップ・ファンド（積極型）	バランス
7	フィデリティ・U S リート・ファンド B（為替ヘッジなし）	海外・リート
8	H S B C インドオープン	海外・株式
9	H S B C インド・インフラ株式オープン	海外・株式
10	のむラップ・ファンド（普通型）年3%目標分配金受取型	バランス
11	G S 米国成長株集中投資ファンド 毎月決算コース	海外・株式
12	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	海外・株式
13	投資のソムリエ	バランス
14	のむラップ・ファンド（保守型）	バランス
15	つみたて先進国株式	海外・株式
16	のむラップ・ファンド（普通型）年6%目標分配金受取型	バランス
17	ニッセイ日本勝ち組ファンド	国内・株式
18	フィデリティ・米国優良株・ファンド	海外・株式
19	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド	海外・株式
20	四国アライアンス 地域創生ファンド（年1回決算型）	海外・株式

※2025年3月末時点

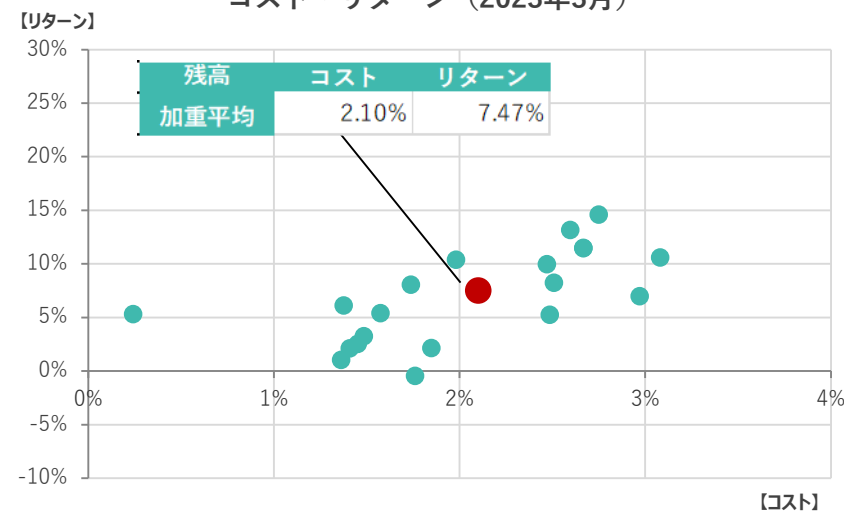
設定5年以上の投資信託が対象

【参考】比較可能な共通KPI（証券_投資信託③）

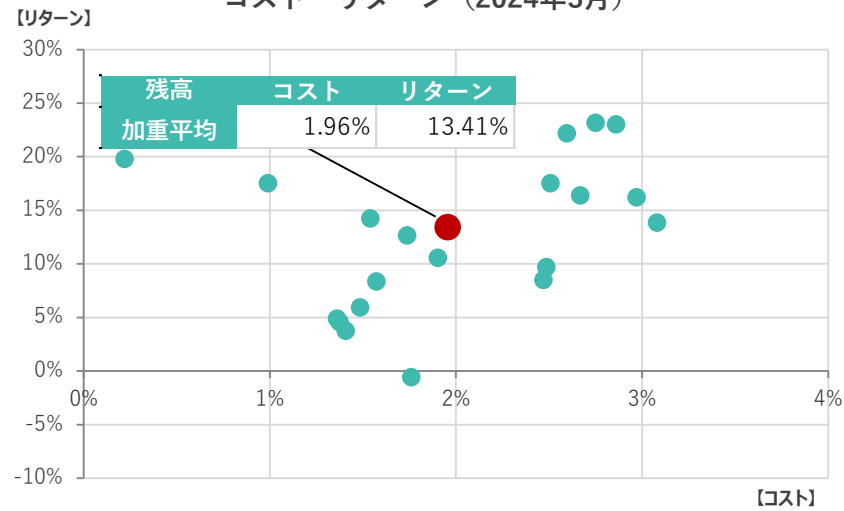
証券

投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン

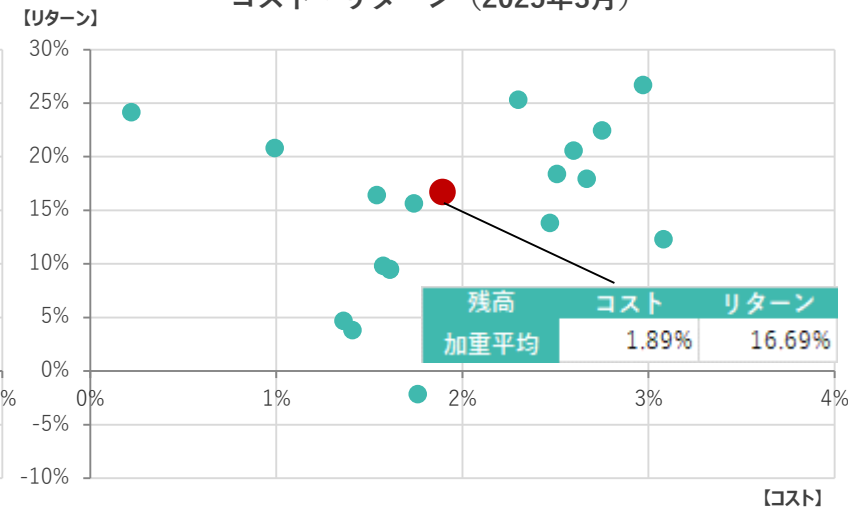
コスト・リターン（2023年3月）



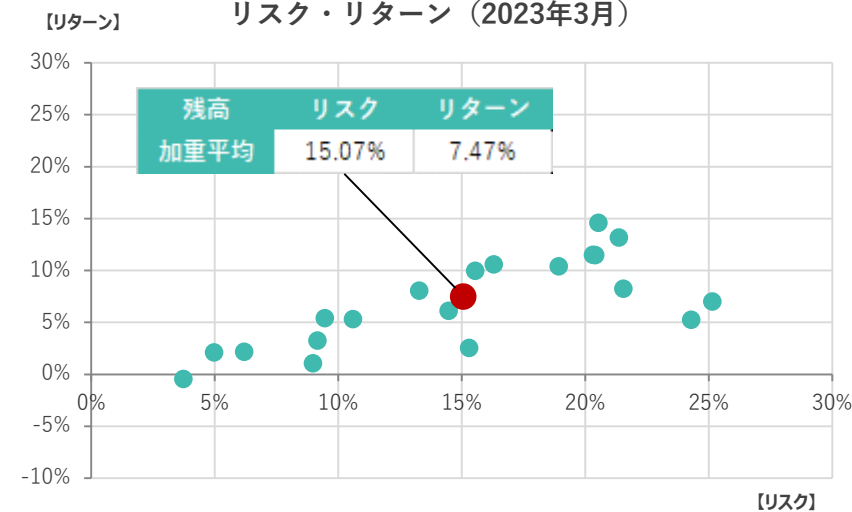
コスト・リターン（2024年3月）



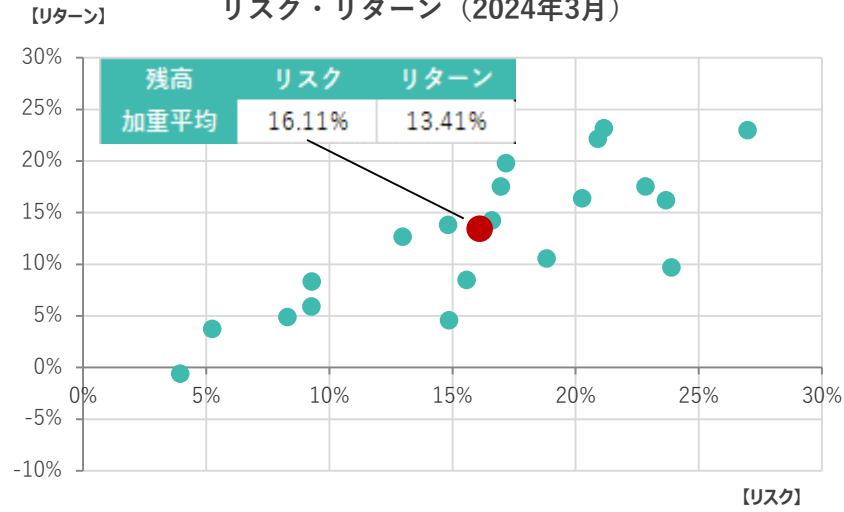
コスト・リターン（2025年3月）



リスク・リターン（2023年3月）



リスク・リターン（2024年3月）



リスク・リターン（2025年3月）

